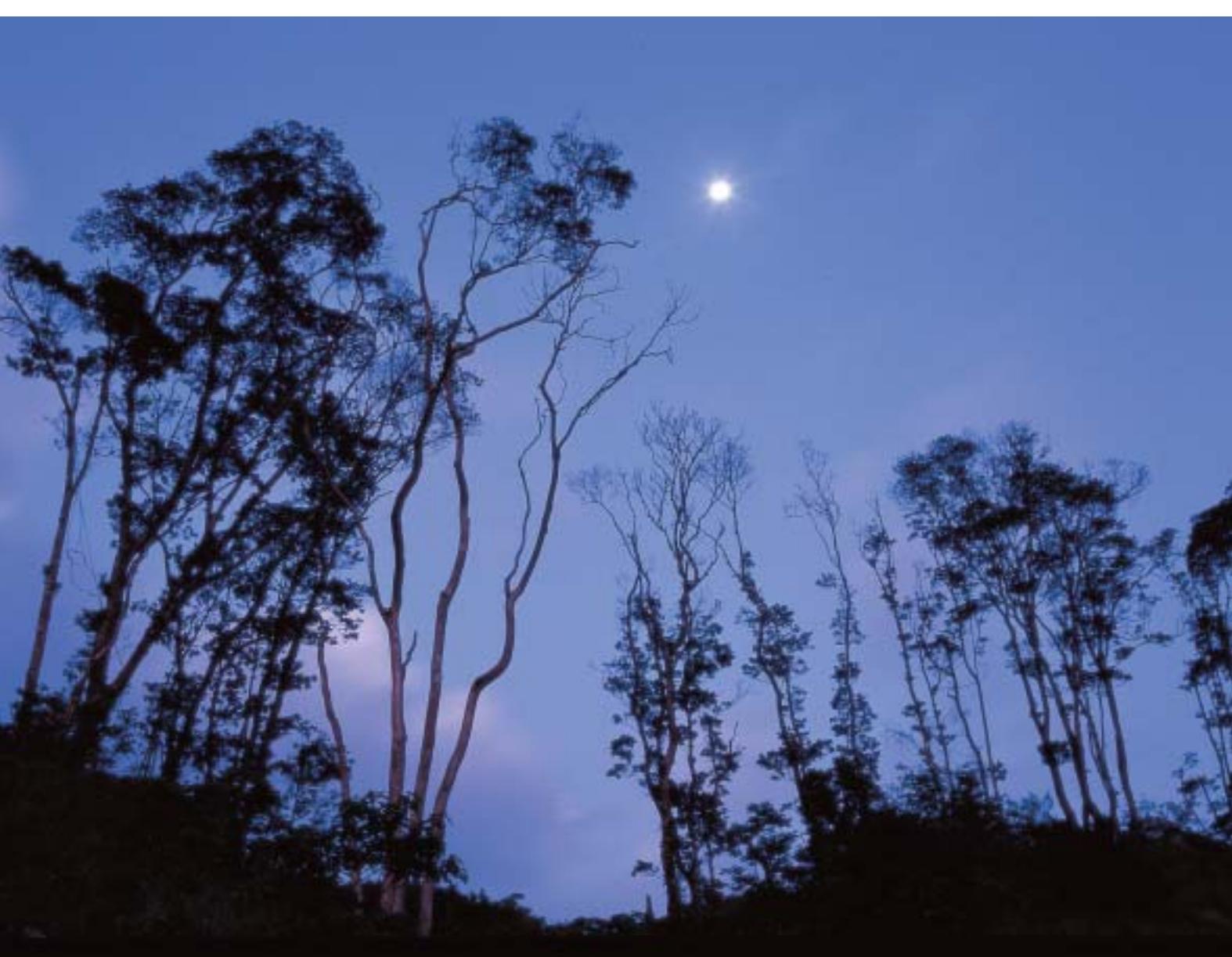


Bank of the Ryukyus' Okinawan Economic Review

# りゅうぎん調査

No.472  
2009

2月



Kō 1873

■経営トップに聞く

株式会社丸浩重機工業

■An Entrepreneur

有限会社メランジエ

■寄稿

高度医療への挑戦 沖縄での診断・治療への取り組み

 琉球銀行

 りゅうぎん総合研究所

RRI  
No.031

# Okinawan Economic Review

2009.02 No.472

RRI No.031

※目次(CONTENTS)の各タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。

## CONTENTS

### 経営トップに聞く 株式会社丸浩重機工業 01

～社会が必要とする会社になる。地域と共に地域第一主義。～

代表取締役 ひが としひろ  
比嘉 俊浩

### An Entrepreneur 有限会社メランジェ 06

～「起業家訪問」鍾乳洞・ぼんさい庭園&カフェ「ゴールドホール」、  
キングタコス経営～

代表取締役 しまぶくろ さゆり  
島袋 小百合

### 寄 稿 高度医療への挑戦 08 沖縄での診断・治療への取り組み

(株)粒子線治療支援機構(HMO)プロジェクトマネージャー そが ふみのり  
曾我 文宣  
(株)メディプロープ取締役社長 すずき かずとし  
鈴木 和年

### アジア便り 大連 19

～中国本土～台湾直行便就航拡大～

みやざと たくみ  
レポーター:宮里 琢巳(琉球銀行)

みずほコーポレート銀行(中国)有限公司大連支店にて研修中

### りゅうぎんビジネスクラブ 21 労務管理セミナー開催のご案内

### 沖縄県の景気動向(2008年12月) 22

～観光関連は引き続き好調に推移し、消費関連は底堅く推移しているものの、建設関連は弱いことから、足踏みが続いている～

### 経営情報 平成21年度税制改正大綱 37

～中小法人等の所得金額のうち、800万円以下の

法人税の軽減税率が22%→18%に引き下げられます。～

提供 太陽ASGグループ ASG税理士法人

### 学びバンク 39

・第1回半島芸術祭in南城

～人(癒し)・自然・文化・芸術に光り輝く 知念半島・南城市～

琉球銀行佐敷支店長 石垣 永信(いしがき ながのぶ)

・中期経営計画のすすめ～5年後描き羅針盤に～

琉球銀行商業団地支店長 伊佐 博(いさ ひろし)

・返還軍用地を活用したむらづくり～地域活性化への基盤整備～

琉球銀行読谷支店長 池原 興一(いけはら きょうかず)

### 経済日誌 2009年1月 41

### 県内の主要経済指標 42

### 県内の金融統計 44

#### 表紙 羽地ダムの夜景

国管理の7ダムのうち、福地ダム(55百万m<sup>3</sup>)に次いで県内2番目の貯水量(19.8百万m<sup>3</sup>)を有す。2000年(平成13年)6月完成、ダム周辺の緑地は整備され、月明かりの夜景は県民を癒す眺めの一つ。毎年5月には“こいのぼり祭り”を開催するなど広く県民に親しまれている。

# 経営トップに聞く

第29回 株式会社丸浩重機工業



比嘉 俊浩 社長

## 社会が必要とする会社になる。 地域と共に地域第一主義。

(株)丸浩重機工業は1990年(平成2年)の創業以来、基礎工事を中心に常に現場の第一線で「創意工夫と顧客満足の向上」を信念に、確かな技術と、細かな配慮で一つひとつの工事を施工。様々な施工ニーズに応えるべく、日々の業務を通して得た経験と実績を生かし、有効な工法の技術革新、地球環境保全へも積極的に取り組んでいる。糸満市字武富の本社に比嘉俊浩社長をお訪ねし、同社の設立経緯、現状と課題、将来ビジョン等についてお聞きした。

▶ インタビュー及びレポート:企画部長 具志堅勇

### 御社設立の経緯等について教えてください。

当社創業以前、私(比嘉社長)は、高校を卒業後、沖縄産業開発青年隊に参加し、そこで貴重な体験の場を得ました。それと同時に、各種資格や技術を習得いたしました。

その後、県内重機会社に就職し、重機操作や基礎工事の技術をマスターしました。1990年(平成2年)4月にこれまでの経験を生かし、個人企業「丸浩重機工業」を立ち上げました。当初は2名でのスタートで、糸満市西崎町にての創業でした。それから1995年(平成7年)8月に現在地の糸満市字武富に移転しました。その間、いろいろと苦勞もありましたが、今となっては貴重な経験、いい勉強になったと思っていますし、それらが現在の当社の礎になっているものと考えています。

1999年(平成11年)1月に社名を「有限会社丸浩重機工業」に改め、法人組織としました。そして2007年(平成19年)、一昨年の7月に株式会社へ改組し現在に至っています。創業以来、いやそれ以前の会社勤めの頃から一貫して重機関係及

### 会社概要

商 号: 株式会社丸浩重機工業  
本 社: 沖縄県糸満市字武富204-1  
連 絡 先: 098-994-4387  
U R L: <http://www.maruhiro-jyuki.co.jp>  
設立年月日: 1990年(平成2年)4月  
資 本 金: 10,000千円  
役 員: 代表取締役 比嘉 俊浩  
取締役常務 屋嘉部 勉  
取締役工事部長 長嶺 修  
取締役営業企画室部長 上江洲 安信  
従 業 員: 50人(パート含む)  
事業内容: 土木工事業、とび土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、水道施設工事業、特殊基礎工事、各種クレーンリース

び基礎工事関係を専門としてやって参りました。現在、50名の社員とともに離島を含めて県内全域で事業展開しているほか、大阪と東京でも同地域の大手業者と組んで、その下請け工事など

も手掛けています。

工事は元請け1割に対して、下請けが9割と大半を占め、その中でも公共工事が8割、民間工事2割という状況です。公共工事が削減されていく中、民間工事のウェイトを高めるよう努めており、民間工事主体へと転換を図っているところです。

### 御社の主力業務は？

事業内容は多岐にわたっていますが、橋梁の基礎工事など特殊基礎工事が95%と殆どを占めています。特殊基礎工事の県内シェアは5割程度といったところで、当社は大型工事と小規模工事を得意分野としており、中規模工事は扱っていません。現在の工事体制のおかげで同業他社との関係でも上手く住み分けが出来ており、事業基盤の安定化に繋がっているものと考えています。

橋梁の基礎工事などが大半を占めている旨申し上げましたが、代表的な施工実績として、今帰仁村のワルミ大橋の橋梁整備工事や北大東島の岸壁及び施設用地工事、宮古島伊良部大橋橋梁整備工事などが挙げられます。



今帰仁村ワルミ大橋橋梁整備工事の様子

これら橋梁工事は公共の大型工事であり、一方、個人の戸建て住宅や共同住宅の基礎工事など小規模工事も手掛けていますが、やはり割合的には圧倒的に公共工事が多いのが実情です。今後、マ



SBSゴンドラ工法による構台と桟橋架設の様子(ワルミ大橋)



北大東島岸壁等工事の様子



宮古島 伊良部大橋橋梁整備工事の様子

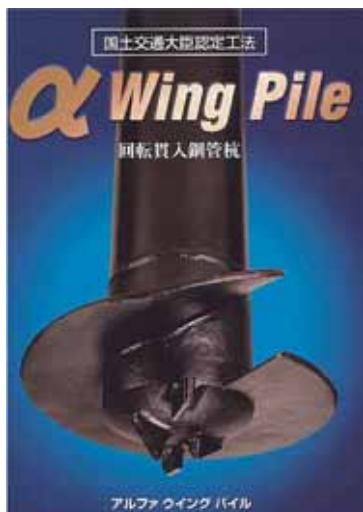
ンションや共同住宅、ショッピングモール等民間施設の基礎工事にも力を入れていきたいと考えています。

環境保全等への取り組みにも配慮されているようですが。

当社では、環境への取り組みについて次の方法で取り組んでいます。基本的には「建設公害を発生させずに行うこと」、次に「環境への配慮に徹すること」とし、周囲環境においては「安全と安心を最優先に考えること」、「地域住民の生活の妨げにならないこと」、「(万一建設公害が発生した場合)建設公害の苦情には即座に対応すること」を前提に工法や重機類を選択することです。

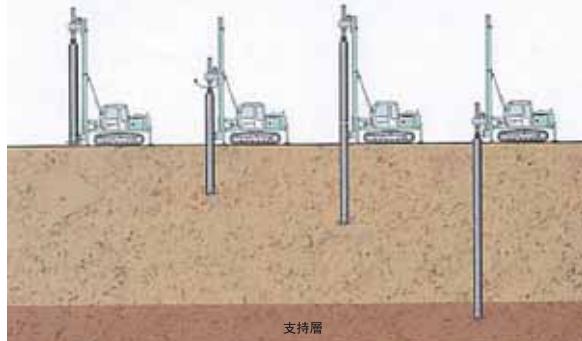
当社では景観を壊さず自然にやさしくありたいと考えています。そのため様々な工事地盤に対して最適な工法で臨んでおり、当社の各種工法は基本的に低振動、低騒音です。建設公害については常にその探求を怠らず「公害の前例に学び、細心の注意を払うこと」を徹底し、より最新の工法導入も積極的に行ってています。2008年(平成20年)現在、取り入れている最新工法としては次の2つがあります。1つ目は回転貫入鋼管杭工法(アルファウイングパイル工法)で、杭自体の先端部に翼があり、その形状が硬い地層にもスムーズに貫入し、杭を回転させながら埋設するので低振動、低騒音です。また、地盤や地下水を汚染する事がない、残土も出さないので環境にもやさしく、狭い敷地、狭

い搬入路でも施工が可能な住宅地や商業地に向いた工法といえます。



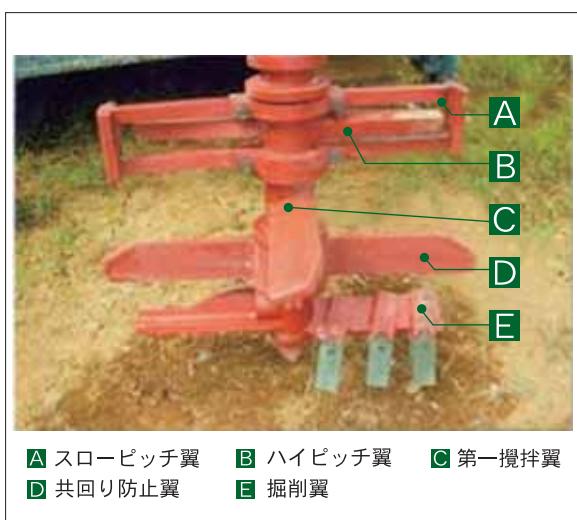
#### 《施工手順》

- ①杭の建込み  
杭を吊り込んで、杭先端を机芯にセッティングし、押れ止め装置で固定する。
- ②杭の回転貫入  
杭の垂直度を確認後、圧入力及び回転力を加えて地盤中に回転貫入させる。
- ③杭の接続  
下杭を適切な位置まで貫入させ、中杭または上杭を溶接にて接続する。
- ④杭の施工完了  
所定の深度まで回転貫入後、回転駆動用キャップを外して施工を完了する。



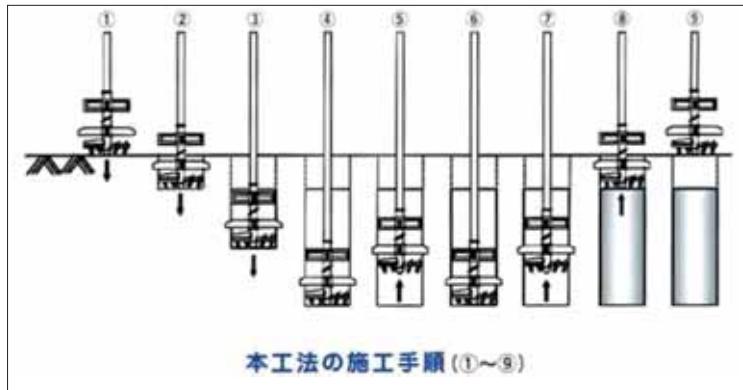
アルファウイングパイル工法の施工手順

そのほか、スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法(HITSコラム工法)も導入しました。この工法は(財)日本建築総合試験所より、建築技術性能証明を取得した経済的で高品質の柱状改良工法です。3階建て以下、建物の高さ13m以下、軒高9m以下、延床面積500m<sup>2</sup>以内の小規模建設物及び付帯構造物の基礎補強のために開発された新工法です。



<HTSコラム工法ベースマシーン>

攪拌翼の枚数が少なく、ベースマシーンがコンパクトで安定した施工が可能、攪拌効率が高く、固化材スラリーの噴き上がりが少ない(発生土が少ない)ため、経済的な工法といえます。



### ①施工機本体の位置設定

コラム芯に掘削・攪拌機の中心を合わせ、施工機内に装備された傾斜計により鉛直性を確保する。

### ②空掘り部の掘削

掘削・攪拌機を正回転させながら、掘削を行う。

### ③固化材スラリーの吐出及び掘削・攪拌

所定量の固化材スラリーを吐出しながら、所定の速度及び回転速度を維持させ、掘削・攪拌を行う。

### ④掘削完了

所定の深度に達したら(着底)、掘削及び固化材スラリーの吐出を停止する。

### ⑤引抜き・攪拌

掘削・攪拌機を逆回転させながら、所定の速度及び回転速度で着底から1.0mまで引抜き攪拌を行う。

### ⑥再掘削・攪拌

着底から1.0mの深度に達したら、再度掘削・攪拌機を正回転して所定の速度及び回転速度で着底レベルまで掘削・攪拌を行う。

### ⑦再引抜き・攪拌

着底の深度に到達後、掘削・攪拌機を逆回転させながら、所定の速度及び回転数で引抜き攪拌を行う。

### ⑧空掘り部の引抜き

掘削・攪拌機を逆回転させながら引抜きを行う。

### ⑨施工完了

これら最新工法を含めて、当社では日々の業務を通して得た経験と実績を生かし、有効な工法の技術革新並びに地球環境保全にも積極的に取り組んでいるところです。

### ところで最近の原油高、原材料等高騰の影響は?

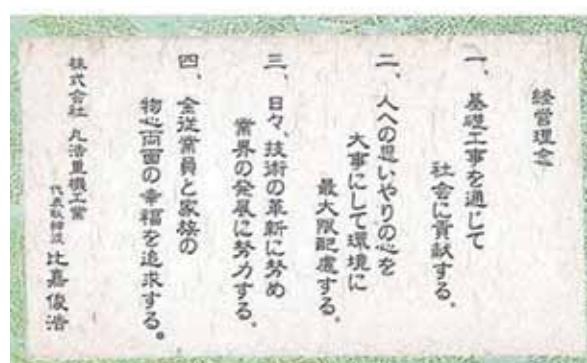
大型工事と小規模工事を効率よく施工する体制としていることから原油や原材料等高騰の影

響は殆ど受けしておりません。

### 経営理念、社是等についてお聞かせください。

基本方針として「社会が必要とする会社になる」、「地域と共に地域第一主義」を掲げ、当社丸浩重機工業を社会が必要としているんだと全社員が使命感に燃え、そう思えるような会社創

りを目指しています。丸浩重機工業があつてよかつたと地域から思われるくらいの企業創りと地域の行事には率先して参加して地域と共に発展していくことを最大の目標としております。また、経営理念としては次のとおり掲げています。



社会への貢献はもちろん、環境への配慮を常に意識しながら、当社だけでなく業界としての発展にも力を注ぐとともに、仕事だけではなく自分自身と家族の健康を考え、全従業員と家族が幸福になる職場とする。これらを日々実践し、全社員一丸となって社業に取り組んでいます。

### 社員教育、福利厚生面については如何でしょう?

定期的に安全大会を開催しているのですが、安全教育等勉強会を終えた後、レクリエーション活動も実施し、社内の融和を図っています。また、東村慶佐次に自社の宿舎を保有しており、社員の福

利厚生施設として活用しています。



東村慶佐次の福利厚生用宿舎

### 社会貢献活動については如何でしょう？

経営理念にも謳っているとおり、社会貢献には積極的にかかわるようになっています。地域のボランティア活動や行事への参加、寄付活動等も継続して実施しているほか、私(比嘉社長)自身、沖縄県基礎工業協同組合の理事長として先頭に立って業界の発展に努めているところです。

### 安全祈願祭も創業当初から継続して実施しているとのことです

会社所在地の武富地区は御拝所が多い地域といわれています。当社は当地の御拝所の一つで創業以来、年度初めに全社員参加して安全祈願祭を継続して実施しています。その甲斐あってか、大きな事故等もなく、安全な工事遂行が実現出来ています。

当然ながら、単に安全を祈願するだけでなく、各工事現場への安全パトロールの実施も徹底して行っており、私(比嘉社長)以下全社員の安全に



安全祈願の様子

対する意識が無事故で安全な工事の施工に繋がっているものと考えています。

### 御社の課題とその対応状況は如何でしょう？

特殊基礎工事は特別な機械類を扱うことが多く、そのオペレーター等機械操作者は年配者が増えています。技術ノウハウの引継ぎ、後継となる若手の育成・強化は課題の一つであると認識しています。基本的には社内での育成が必要となります。幸いなことに基礎工業協同組合では機械等の教習機関としての認定も受けており、そこで若手技術者育成、資格認定にも協力して取り組んでいます。公共工事予算が削減されてきていますが、完全にゼロとなったわけではなく、現に浦添の湾岸道路やモノレールの延伸等も確定し、私共基礎工事業者にとっては明るい材料も出てきています。業界の力を結集してこれらの課題へ対応するとともに、新たな工事へ積極的に取り組んで参りたいと考えています。

### 最後に将来展望についてお聞かせください。

当社は現在、①地盤改良、②HITSコラム工法やアルファウイングパイル工法などの特殊な基礎杭工法、③本島～離島間、または離島間を結ぶ橋梁の特殊基礎工事を柱として事業展開しています。常に技術革新に配意し、独自の工法開発並びに本土大手業者の開発した最新技法の積極導入など、時代の要請に応えていきます。

まだ、実績はありませんが、ベトナムなどアジア市場からの工事需要もあるようです。先日もベトナムに現場視察に行ってきました。沖縄県を含めて既存の当社のマーケットに限らず、当社並びに業界を必要としているところには率先して出向き、社会基盤創りに貢献していきたいと考えています。「未来への架け橋」、「大地へのチャレンジ」をテーマに取り組んで参ります。

# 起業家訪問



創業者儀保松三氏、島袋小百合代表

## 事業概要

- 会社名 (有)メランジェ  
鍾乳洞・ぽんさい庭園&カフェ、  
キングタコス経営  
○電話 098-968-3546  
○所在地 国頭郡金武町字金武4272-1  
○設立年月 2005年(平成17年)6月  
○職員 67人

## 鍾乳洞・ぽんさい庭園&カフェ 『ゴールドホール』

### トピックス

- 2008年11月、県内初の鍾乳洞・ぽんさい庭園&カフェ「ゴールドホール」をオープン。
- 鍾乳洞及びぽんさい庭園は観光スポットとして開放(有料)。
- 別途、経営する「キングタコス」はタコライス発祥の店として県内はもとより全国的に有名。

### ①起業への道のり

元々は祖父(儀保松三氏)が現在地で外人や地元客を相手にバーを経営していました。その後高等の影響もあってバーを閉め、同じ金武町内でメキシコ料理などを扱う「キングタコス」をオープンしました。最初の頃は中々売れない状況が続きましたが、祖父は他所にはない、安くて、美味しい、しかも早く出来、ボリュームもある商品として「タコライス」を考案。今では「キングタコス」は「タコライス」発祥の店として県民や基地米兵はもちろん観光客を含めて全国的に有名な店として知られています。

現在、「キングタコス」は私(島袋代表)を含めて子や孫たちの手に移り、金武本店のほか、うるま市や宜野湾市などで多店舗展開

しております。2005年6月に孫ら6名でこれら多店舗の原材料等を管理・運営する会社として(有)メランジェを立ち上げ、私(島袋代表)が代表取締役に就任しました。

一方、当初祖父が始めたバー跡地は、地下に鍾乳洞を有し、岩肌の景観も美しい敷地で、長年収集してきた膨大な数の盆栽や置物・調度品類などを含めて有効な活用法を模索していました。2008年11月に県内初となる鍾乳洞・ぽんさい庭園&カフェ「ゴールドホール」として皆さんにご披露することが出来るようになりました。



まだ全てを開放している訳ではありませんが、観光スポットとして皆さんに親しんでいただければと考えています。

### ②起業時の苦労等

おかげ様で「キングタコス」の方は引継ぎを含めて順調な営業を続けていますが、「ゴールドホ



鍾乳洞・ぽんさい庭園&amp;カフェ入口



ール」はまだ始めたばかりで、いかに認知度を高めるか、来訪者を増やすかに腐心しているところです。オープンから現在にいたるまで私(島袋代表)自身専門家でもないため、祖父のアドバイス等を受けながらも、勉強することの多い毎日が続いています。

### ③セールス・アピール

#### ■景観が美しい岩肌の造形

左の写真でもわかるとおり、カフェの裏側は各種盆栽や木々の造形美に圧倒されるでしょう。ただ見て回るのも大変なので途中とちゅうには休憩所も設け、ゆったりと眺められるような工夫も凝らしています。

#### ■酒甕が熟成を待つ鍾乳洞

1905年(明治38年)創業の崎山酒造廠の銘酒「松藤」を鍾乳洞内に貯蔵し、飲みごろとなるまで熟

成させています。



### ■庭園内は盆栽の宝庫

祖父が創業以前から収集したあるいは自ら育てた盆栽は多種多様で、見る人の心を癒し、和ませてくれます。



### ■カフェ内の置物や調度品も多彩

「ゴールドホール」店舗内には置物や調度品類も数多く展示され、落着いた佇まいをみせてくれます。



### ■散策の後には、ゆったりと軽食をお召し上がりください。

鍾乳洞の酒甕の鼓動を聴き、庭園の眺望や盆栽の流麗な姿を味わった後は、多彩な置物や調度類を眺めながらコーヒータイム等はいかがでしょう。



お勧めの手作りスコーンセット

もちろん、「キングタコス」で有名な「タコライス」や「タコス」等もお召し上がりになれるほか、ア

ルコール類や各種ソフトドリンクも取り揃えています。

### ■カフェは年中無休、24時までオープン

「キングタコス」各店とも基本的に年中無休が売り物。カフェ「ゴールドホール」ももちろん年中無休です。午前10時から24時まで営業しており、お客様のご来店をお待ちしています。

### ■委託販売も予定

鍾乳洞内の酒甕や各種盆栽、調度品類については、現在は展示のみの目的でお見せしていますが、酒がまろやかに熟成し古酒となつた後、庭園並びに店内の整備がさらに進んだ後、委託販売も予定しています。具体的な日時は決まっていませんが、その際には是非、お買い求めください。

### ■金武町の新名所を目指して

「キングタコス」は既に全国的な知名度を有しているので、観光客の来店も多いのですが、当カフェ「ゴールドホール」はオープンしたばかりということもあって知名度もなく、パンフレット等もまだ出来上がってない状況です。しかしながら、これまでご紹介した当カフェの売り物の数々は他所にはない自慢のものばかりです。いろいろな手段や場を活用しながら鍾乳洞・ぽんさい庭園&カフェのPRに努めているところです。近い将来、当地が金武町の観光スポット、新名所になるものと確信しています。金武町へお越しの際には、是非、お立ち寄りください。  
(レポート:企画部長 具志堅 勇)

# 高度医療への挑戦 沖縄での診断・治療への取り組み



(株)粒子線治療支援機構(HiMO)  
プロジェクトマネージャー  
曾我 文宣

東京大学工学部原子力工学科卒、  
大学院博士課程、東京大学原子  
核研究所助教授、科学技術庁放  
射線医学総合研究所元企画室長・  
元加速器物理工学部長を経て  
医用原子力技術研究振興財団・  
主席研究員  
理学博士



(株)メディプローブ  
取締役社長  
鈴木 和年

名古屋大学工学部応用化学科卒、  
科学技術庁放射線医学総合研  
究所元サイクロトロン管理課主  
任研究官、元分子認識研究グル  
ープリーダーを経て分子イメ  
ージング研究センター上席研究員  
工学博士

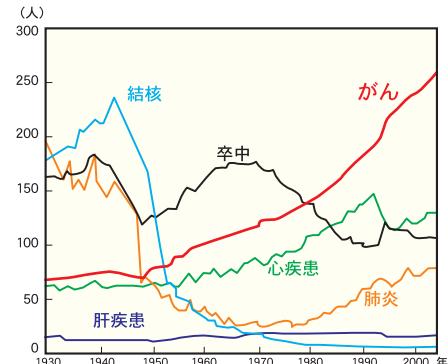
## 1.はじめに

平成20年度 経済産業省 地域イノベーション  
創出研究開発事業で、(株)粒子線医療支援機構  
(HiMO:Heavy Ion Medical Organization)  
が管理法人となった研究体による「高品位PET  
プローブ製造用普及型システムの研究開発」が  
採択され、2年間の計画でプロジェクトが開始  
された。本稿において、その目指す目的と内容  
について解説する。

### (1)日本における病気・死亡率の変遷

日本人の死亡率の原因の中では、がんによる  
ものは全体の約3分の1を占め、2、3番目の心臓  
病、脳疾患を大きく上回っている。年間のがん  
患者発症数は約60万人、死亡者は約32万人で、  
がん克服は国民の健康にとって最大の目標と  
いってよい。

### 図1 日本人の疾病死亡率



今後、国民全体の高齢化に伴いがんは発生率、  
死亡数ともにかなりの勢いで増加していく見通  
しである。がん治療の一般的療法は、患部の摘  
出除去による手術、抗ガン剤の投与、そして放射  
線照射というのが3大療法である。放射線療法  
による対処の比率は、日本では今のところ約25  
%で欧米の比率の半分以下であるが、機能の温  
存、副作用の軽減において、前二者に対してより  
優れた特徴を有している。治療中の患者におけ

る身体的および精神的苦痛や負担は他の2者に比べて圧倒的に少なく、治療後のQOL(クオリティー・オブ・ライフ:生活の質)にも優れている。今後、もっと国民に対する普及への啓蒙活動が必要である。最近は単独ではなく、この3者の間での併用療法が行われることも多くなっている。

## (2)先進治療としての粒子線治療

現在、日本では、ここ十数年の実績を踏まえて、難病のがんに対する最新の放射線治療の一つである加速器からのビームを利用する粒子線治療施設の建設の検討が各地で起こっている。この装置は従来の放射線治療装置(X線およびガンマ線照射)と異なってかなり大型の施設になるが、国内で既に7カ所(炭素線治療施設:放射線医学総合研究所重粒子医科学センター、兵庫県立粒子線医療センター、陽子線施設:筑波大学陽子線医学利用センター、国立がんセンター東病院、静岡県立静岡がんセンター、若狭湾エネルギー研究センター、南東北がん陽子線医療センター)が治療を行っているのに続いて、新たに3カ所(炭素線:群馬大学、陽子線:福井市、指宿市)において建設が進行中であり、また2カ所(炭素線施設:鳥栖市、陽子線:名古屋市)で建設が決定されている。その他の地域でも熱心な要望が寄せられている。

## (3)粒子線とX線の違い

粒子線加速器は、歴史的に原子核物理学と共に発展し、直線加速器やサイクロトロン、シンクロトロンなど、基礎物理学研究に用いられて

きたのであるが、ここ30年くらいの間に、その科学的応用が急速に展開してきた。物質材料科学、放射線化学などで、産業への活用も進み、放射線生物研究を介して、医学応用で人々の健康生活向上への利用も盛んになってきている。粒子線治療の基本的特徴は、通常の放射線治療で用いられる電磁波放射線であるX線やガンマ線と比べて①線量<sup>注1</sup>吸収曲線が体内に入つて漸減するのと異なって、飛程<sup>注2</sup>の終端近くでプラグピークと呼ばれる急峻な特性を有し、体内での放射線線量の局所集中性が圧倒的に優れていること(図2参照)、②特に炭素線では生物学的効果が高いこと(図3参照)があげられる。

図2 体内における線量吸収曲線  
(100%で縦軸を規格化してある)

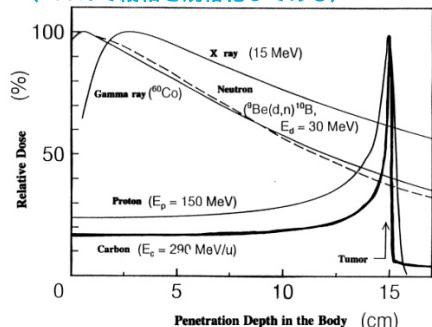
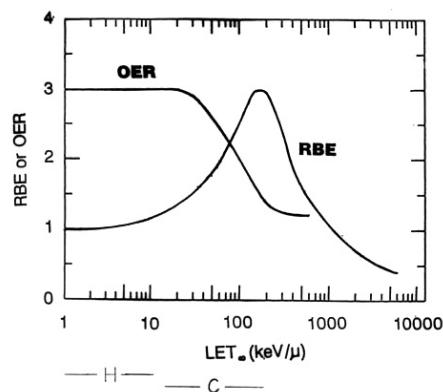


図3 LET依存性を示す生物学的效果比(RBE)と酸素増感比(OER)



即ち、粒子線の場合、LET<sup>注3</sup>依存性があり、X線よりも数倍少ない物理線量で同様のがん細

胞殺傷効果があり(RBE<sup>注4</sup>)、またがん細胞中心部にありがちな低酸素細胞においても殺傷効果が高い(OER<sup>注5</sup>)。

#### (4)診断技術の目覚ましい発展

粒子線治療は、上述のように鋭い線量の局所集中性を最高度に生かすことで、ミリの精度での治療ともいわれるが、このような放射線治療は、がん腫瘍の存在、その形状の正確な把握ができる非侵襲的<sup>注6</sup>な高度の診断技術の発達をもって初めて可能になった。

イギリスのコーマック、ハウنسフィールドによるCT原理の論文に続く1970年代のX線CT(Computer Tomography:計算機による断層撮影装置)の発明は、医療診断に画期的な進歩をもたらした。患者の身体に殆ど影響を与えることなく、腫瘍の位置、大きさなどが画像化され確認されることが可能になったのである。この流れはX線CTに留まらずMRI(Magnetic Resonance Imaging:核磁気共鳴断層撮影装置)、PET(Positron Emission Tomography:陽電子放出断層撮影装置)と応用を拡げ、現在この3者は放射線治療にとって必須の診断装置となっている。

X線によるCTは、身体の外部からのX線が体内を通過した結果の強度分布を周囲360度から測定し、それを数学的に変換して体内の構造を画像化するのに対し、PETは体内から発する対になった消滅ガンマ線の分布を360度にわたって測定することによって、発するガン

マ一線源の分布が画像化される。それによってがん腫瘍の機能診断が可能になる。図4に装置の写真を載せた。最近はX線CTとPETが同じ装置に実装されていて、患者が同じ姿勢で動くことなく、両者の画像が同時に比較できるPET-CT装置というものが普及しつつある。

図4 PET診断装置



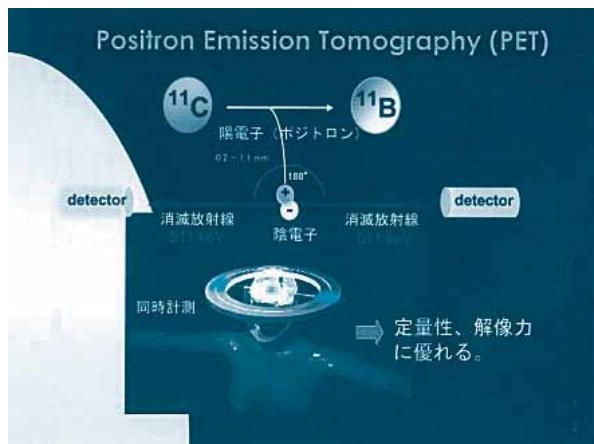
本プロジェクトはPETに関する高度の研究開発がなされたものをより普及しやすいように合理化し、地域の産業発展、医療分野の人材養成のために資する事、それをゆくゆく全国的な発展にも結び付けることを期する計画である。

## 2. PETとは

### (1) PETの原理

これは原子核崩壊するラジオアイソotopeの中で、陽電子を放出するものを使う(陽電子放出核種)。陽電子を放出するとそれは周囲にある電子と直ぐに反応し、いわゆる電子対消滅を起こして、二つの511keVのガンマ線を反対方向に同時に放射する(電子と陽電子は消滅し、

図5 PETの使用原理図



その質量に相当するエネルギーのガンマ線となる)。そのラジオアイソトープで標識された薬剤が腫瘍に集まりやすいものを選択すると、その腫瘍個所からガンマ線が出て(エネルギーが高いので身体を十分に通過)、ラジオアイソトープを検出することができる。これにCT原理を使い、身体を囲み、360度の測定することによって身体腫瘍部分の画像化を得ることが可能になるわけである(図5参照)。がん腫瘍の場合はその部分はがん細胞の増殖が活発で、ブドウ糖あるいはアミノ酸代謝が盛んに行われる所以、陽電子放出核種で標識したブドウ糖やアミノ酸などの類似体を使用することにより、より多くの陽電子放出核種をがん腫瘍に集積させることができる。

このようなPET薬剤を使って、がんの検査をした断層検査の例を図6に示した。隣接した断面の3枚の画像である。肺がん症例で、PET画像で青矢印で示している個所が腫瘍である。またPETによる全身検査の画像を図7に示した。

左の2枚の画像がブドウ糖の類似体である<sup>18</sup>F標識のFDG(フルオロデオキシグルミース)、右の2枚がアミノ酸である<sup>11</sup>C標識のメチオニンを用いて得られた画像である。双方ともに腫瘍への集積は認められるが、FDG画像では脳と膀胱に、メチオニン画像では内臓への生理的集積が顕著に認められる。このような集積は(これらは腫瘍でない場合においても認められるが)、使用するPET薬剤の性質を反映したものである。

図6 肺がんの検査の異なる断層での画像

上がX線CT、下がPETによる画像

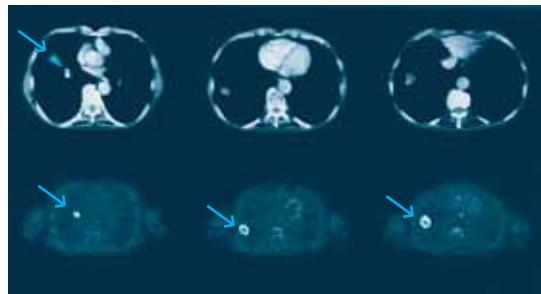
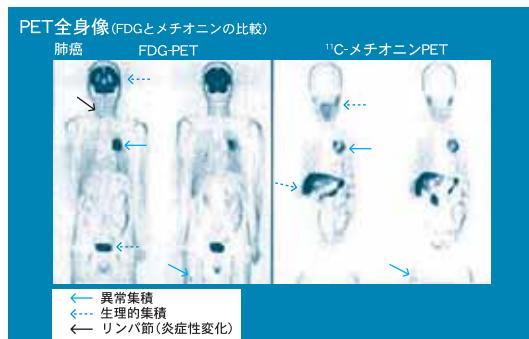


図7 PETによる全身画像



左が<sup>18</sup>FによるFDG画像、  
右が<sup>11</sup>Cによるメチオニン画像

## (2) PETの特徴

上述のようにPETは陽電子放出核種を使用するのであるが、一般にそのような放射性核種は半減期が非常に短い。FDG-PETに使われる代表的核種である<sup>18</sup>Fは110分、<sup>11</sup>Cは20分、<sup>13</sup>N

は10分、<sup>15</sup>Oはたった2分である。しかしこれらの放射性核種は極微量な量でも高度な検査が可能である。半減期が短いために放射能は直ぐ減衰し、検査対象者(患者ないし、検診者)の放射線被曝を少なくすることが可能となり、異なる性質を持った薬剤を使った複数回の検査も可能である利点を有する。しかし、このような核種を加速器で製造し、それを必要な薬剤に組み込み、検査対象者に注入するには、その製造行程がヒトに投与する薬剤を製造するのに適したクリーンな環境で行われ、しかも、極めて迅速に行われなければならない。同時に、製品は極めて強い放射能を帯びているため、製造に係る人たちに対する被曝の放射線防護も大きな問題である。

### 3. PETの状況

#### (1) 日本における現状

日本でPETは、10年くらい前までは、放射薬剤を製造するサイクロトロンが必要なこともあって、全国で数10カ所という状態であったが、ここ数年、空前のPETブームがあって、現在では約200カ所を超えるPET施設が存在している。その殆どで放射薬剤としてはFDG(フルオロデオキシグルコース)が使用されている。

FDGはブドウ糖の一種であるが、<sup>18</sup>Fの寿命(半減期110分)が<sup>11</sup>C(半減期20分)と比較し相対的に長いので、限られた範囲では輸送が可能であり、サイクロトロンを持たなくともPET検診

が可能になったこともPETが急激に普及した一因である。しかし、このところあまりに急激に増えたこともあり、逆に経営上、厳しい状況に陥っている施設も出てきている。

#### (2) 放医研におけるPET

##### i) 放射薬剤の開発

科学技術庁(現在の文部科学省)放射線医学総合研究所(放医研)は日本におけるPET研究で、多年にわたる指導的立場を続けてきた。1975年当時、中性子による放射線治療を行うために陽子エネルギー70MeVのサイクロトロンを導入し、同時にPET用核種の製造開発もスタートした。その後、約20年間で中性子治療は約2000人のがん患者を治療したのであるが(重粒子線治療施設である、HIMAC:Heavy Ion Medical Accelerator in Chibaの臨床試験開始と共に終止符を打った。)、それと並行してサイクロトロンを使って診断用のPET薬剤の製造や臨床応用にも多年にわたる努力を傾注してきた。

その内容は、主にがん患者の診断、また治療中、治療後のアフターフォローなどに及んでいるが、がん以外にも様々な病気に対するPET薬剤を開発、臨床研究に供してきた。それらは大きく分けて、脳神経に対するものと循環器系統の研究に供されるものに分けられる。前者は、統合失調症、パーキンソン病、うつ病、アルツハイマー病などの疾患に対する神経受容体の機能変化、脳内酵素の活性変化、異常物質の蓄積等を測定

するPET薬剤が含まれている。また、抗神経病薬等の最適用量を決定するのにも利用されている。後者は血流の変化や心筋機能の異常などを高感度に検出する研究に利用されてきた。

特に放医研では、単位質量あたりの放射能量を表す比放射能の値が非常に高い薬剤を開発することに成功しており、そのレベルは世界的に見ても他所の10～100倍も高いものが少な  
くない。今までに放医研で臨床利用されてきた

図8 放医研で実用化された放射薬剤の例



図9 アルツハイマー病の例



図10 放医研のPET薬剤合成の製造システム



放射性薬剤の数は今までに50～60種類に及び、多くは所内の医者によって臨床研究に応用されている。そのような薬剤プローブを図8に示した。また、アルツハイマー病のPET画像の例を図9に示した。

## ii) 薬剤自動合成装置の開発

これらの多様な放射薬剤を製造するにあたって、グループでは、薬剤を安全・迅速に製造するための世界で最も進んだ完全自動合成システムを独自に開発し、これを利用した臨床用薬剤製造に既に8年間にわたり10,000回を超える製造実績を有している。PET薬剤を製造する装置は、その機能に応じて、次のような要素に分けられる。

①サイクロトロンによるラジオアイソotopeの製造、②アイソトープを取り込み、目的とする薬剤に変換する薬剤合成装置、③最終薬剤の品質検査装置、④薬剤を必要量注射器に採取する自動分注装置。これらは従来、人間が手作業で行っていたもので、その間、作業者は相当の放射線被曝を余議なくされていた。それを放医研では全て完全自動化のシステムとして完成させている(図10参照)。

このシステムは安全な薬を製造するための基準、GMP(Good Manufacturing Practice)の考え方を取り込んでおり、作業者が意識することなくGMPに準拠した製造が行われるように工夫されている。この要点は、人為的誤りの防止、薬剤の汚染、品質低下の防止、高い品質を保証するシステムの設計ということである。

#### 4. プロジェクトの概要

##### (1) 研究の目的

我々が目指す目的は次の通りである。地域社会におけるがん腫瘍や脳神経疾患等の診断・治療技術向上を目的に、放医研が開発してきた世界最先端技術と膨大な運用実績をベースとした、多種多様で安全なPETプローブの製造を作業者の放射線被曝無しに製造するシステムを、単に研究所内だけに留まらず、広く社会に普及させ、市場に供給したいということである。すなわち、現在、殆どのPET施設が、その有用性や応用範囲の広さからがん腫瘍検査のためのFDG・PETのみを行っているが、PETはそれ以外にも、既に述べたようにさまざまな応用分野が知られている。脳神経系の病気、循環器系の病気、ガンの悪性度診断など、FDG以外の薬剤も広く社会に利用されていくことが国民のよりよい健康生活のために強く望まれる。

市場に普及するには、ハードとしては殆ど現在使用されているもので当面十分と考えているが、運営面を含むソフトの面では、大幅な合

理化、改良が必要である。研究本位で作られたものは、あらゆる事象に対応できるように余分な機能も多く含まれている。そのため、本質的な機能は残しつつも、臨床の現場で必要とされる機能を洗い出し、簡易かつ安全に、より廉価に提供するための研究開発を2年間かけて行おうというのが、このプロジェクトである。

##### (2) 琉球大学医学部との連携

本研究開発は、琉球大学附属病院を主たる研究実施場所として、琉球大学医学部が研究体の中核的メンバーとして参画し共同研究開発を行う。琉球大学医学部は、先進的な放射線医療分野に注力してきた経緯から、内閣府紹介もあり、過去3年間、我々関係者と先進的な診断や治療に関して情報交流を実施してきた。

琉球大学と放医研は、平成19年11月、放射線科学、放射線診断学及び放射線治療の領域を強化・展開することを目的に、包括的な研究協力協定を締結した。本研究開発は、この協定後、第一号事業化プロジェクトに位置づけられる。

研究開発環境としては、沖縄医療界、沖縄経済界も高い関心と協力を示していることも看過できない。平成18年、県医師会、沖縄経済同友会主催の重粒子線医療や高度診断に関するシンポジウムが数回開催された経緯もあり、琉球大学医学部付属病院の臨床機能強化に大きな期待を寄せている。同病院に近接する、国立病院機構沖縄病院(宜野湾市)も、呼吸器疾患、神経・筋疾患、がん疾患を軸に臨床的なクリニ

カルパス開発として積極的に参画している。平成20年2月、琉球大学附属病院は沖縄県における「都道府県がん診療連携拠点病院(がん拠点病院)」に指定され、県内のがんセンターとしての機能を強化している。

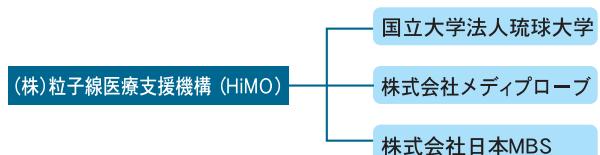
さらに、本研究開発推進には、クリニックレベルの具体的な臨床現場が必要とされる。幸いなことに、琉球大学医学部と協力関係にある民間クリニック(豊見城市)を経営する医療法人が本研究開発意義にご共鳴いただき、積極的な研究協力をいただいたことも大きい。同クリニックは、サイクロトロン、PET施設を有し、経営陣や医師・技師の意識もレベルも高く、立地的には空港にも近いなど多くの良好な条件を満たしている。既に、我々は同クリニックで、本研究開発試作機となる自動合成装置設置がホットセル内に可能であることを確認している。

今後、琉球大学医学部を中心に、研究者や専門技術者との情報交流が一層促進され、研究者や技術者、運営管理者等の放医研やその他専門機関への派遣、放医研で粒子線治療に経験豊富な医師や技師の琉球大学医学部等での講演、講義なども計画されている。マレーシアなどアジア太平洋諸国の政府や医療関係者もこの動きに熱い視線を送っており、琉球大学医学部はアジア太平洋諸国の先進医療教育センター機能も期待される。このように、本研究開発を通じて、非常に意義のある新しい産学官連携クラスター モデル形成が期待される。

### (3) 研究開発の運営

プロジェクト運営の組織形態としては、(株)粒子線治療支援機構(HiMO)が研究体の管理法人として全体統括を行っている。研究体メンバーは、上記琉球大学医学部のほか、システム・装置の研究開発を主に担当する(株)メディプローブ、システム・装置の市場調査や市場化への展開を主に担当する(株)日本MBSより構成されている(図11参照)。放医研は、琉球大学との協定に基づいて、この事業に対する間接的支援を行うことが期待されている。

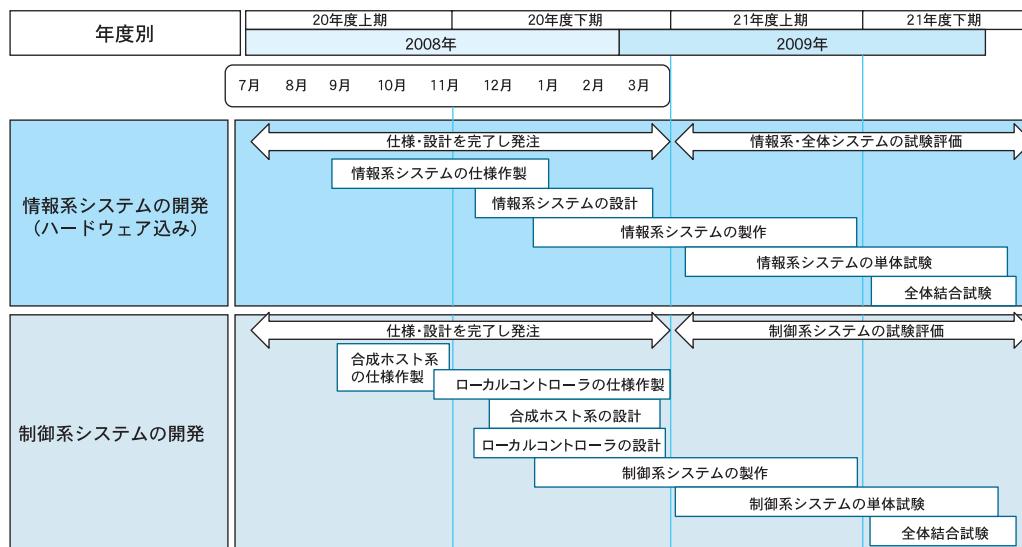
図11 事業の運営形態



### (4) 当面の到達目標

本研究開発は、健康で安心して暮らせる地域社会を実現するために、がんやアルツハイマー病、脳梗塞など虚血性神経障害、炎症・感染症、疲労やストレス等の原因を早期に診断・発見し、また、治療効果の評価などを行う、いわゆるPET等を活用した分子イメージング分野の事業化・商用化である。ただし、限られた期間と予算ではすべてを開発できないため、PETの完全自動化システムのうち、エッセンシャルな情報系と制御系のシステムに焦点をあてて開発を行う。技術自体は、既に放医研で開発され長年にわたって運用実績があり、その技術や装置機能を導入する。

図12 研究開発のタイムスケジュール



平成20年度は、現行システムにおけるソフトや運営面の問題点を洗い出し、プログラムの取捨選択を伴う幅広い合理化、そしてそれに基づいた新たな設計仕様を作成することが予定されている(図12参照)。その後、その仕様をめぐっての専門メーカー等との詳細な検討を経て、ソフトプログラムを決定し、平成21年度より製作開始、夏～秋頃には装置をクリニック(豊見城市)に据え付けてシステム全体の調整を行う。晚秋から初冬にかけて実際の放射薬剤の製造を行い、製品の品質、安全性などの試験も行う予定である。今のところ、FDG以外の薬剤を製造することを計画している。

薬剤検定には、毒性試験も必要で、マウス等の小動物を使った同試験は、琉球大学医学部の研究者グループが担当することになる。開発する試作機やシステムが所期の要求を満たしていることが確認されれば、十分なマーケティング調査を行い、市場化へとつなげたい。

### (5) 沖縄での関連業界への期待

このような研究開発事業を通じて、琉球大学を中心とした先進医療分野の人材が結集し、そのことが結果として人材養成につながることが期待される。もちろん、研究開発されたシステムは、サイクロトロンやPETカメラを使用し、健康寿命の延伸やQOL(生活の質)の向上を目指し、疾患の早期診断や適切な治療法の提供を実施している国内の医療サービス事業者(病院等の医療機関、診断クリニック等)を主たる販売対象先とし、また、様々なPETプローブの合成・分離精製・調剤処理・品質検査・分注等の工程をRI(放射線同位元素)に触れることなく遂行出来ることから、創薬開発や効果測定を実施している国内の大学や研究所、一般企業も対象視野に入っている。これらがIT・ロボット技術等によりネットワーク化されることで、次世代型の医療関連サービスの登場も期待される。

中国、アジア太平洋諸国等、医療・ライフサイ

エンス事業分野の急速な成長を果たしている外部環境もこれら諸国に近接する沖縄にとっては好都合である。人材育成・養成を組み込んだシステムの海外移出基地としての沖縄は、1980年代以降の米国シリコンバレー、台湾新竹市がIT分野で新産業創出を地域社会で実現したように、ポストIT・次世代産業として有望なライフサイエンス分野で大きな期待ができる。

沖縄は、世界でもトップクラスの健康・観光資源に恵まれていることはやはり看過できない。現在、欧米と同等の水準の先進・高度医療サービスを自国よりもはるかに低い費用で受けられる期待から、健康・医療を目的でアジア諸国を訪れる外国人旅行者数は急増中である。今後2010年までの世界での医療観光マーケットは総額7,000億円と一部医療専門紙は報じている。また、その医療行為は延べ4,000万回の医療トリップが世界で実施されると予測されている。アジア市場は、まだ全体の20%弱といわれている。これら成長の背景には、欧米等先進国における高額な医療費負担を少しでも減らしたい企業や患者側の事情がある。特に、医療費が高額な米国では、従業員が医療費の低い海外で治療を受けることで約7~8割のコスト削減効果があるといわれている。

このように、アジアは世界のメディカル・ツーリズム市場において高い可能性を示しており、事実、沖縄に近接する台湾行政機関は国策として①肝臓移植②頭蓋頸面手術③心臓血管外

科手術④生殖治療⑤関節置換手術などを中心に、これらのニーズに応えられる病院をまとめ、海外からの患者を観光しながら治療・検診する「メディカル・ツーリズム構想」を大々的に推進していく計画があることを発表している。

## 5. 将来への大きな期待

HiMOは粒子線がん治療施設、特に日本が世界に抜きんでて実績を誇る重粒子線がん治療施設を国民の健康のために全国的に普及させ、ネットワーク化し、その事業支援を患者や家族の視点で推進することを目的としている。経営戦略上、沖縄は特別の意味をもった地域に位置付けている。それは本邦の最南端であるとともに、もし、そこに重粒子治療施設ができれば、その効果は日本国内に留まらず、東南アジア諸国、台湾、中国などからの多くの悩める患者や家族を受け入れることが可能になるからである。

欧米はじめ各国は、ライフサイエンス分野の強化をナショナルプロジェクトに位置づけている。2000年に、クリントン大統領(当時)は、NIH(国立衛生研究所)がNIBIB(National Institute of Biomedical Imaging and Bioengineering)を設立する法案に署名し、全米の大学や研究所から専門分野を横断する形で選択された研究拠点には多額な予算が計上されている。がんの分子イメージングにおいても、NCI(国立癌研究所)が2001年に生体分子細胞イメージングセンターと小動物イメージン

グ拠点を立ち上げ、大学を中心とするネットワークを形成し、研究を推進している。さらに、NIMH(国立精神衛生研究所)にも分子イメージングセクションが設けられている。欧州でも2006年、EMIL(欧州分子イメージング研究所連合)が形成され、研究拠点の設置と研究者の育成に乗り出している。

もちろん、わが国でも、平成17年度(2005年度)から、PETを中心とした分子イメージング技術を活用した創薬プロセスの迅速化及び低コスト化並びに疾患診断の高度化を目指して、創薬候補物質探索拠点(独立行政法人理化学研究所)及びPET疾患診断研究拠点(独立行政法人放射線医学総合研究所)を整備している。このように、IT、自動車、エネルギーにあつたような国際的な技術開発競争が激しく展開している。

沖縄は、ポスト振計<sup>注7</sup>の議論もされている中、地域としてこの大きな潮流をどのようにつかむことができるのか、大きな戦略と決意が必要である。しかし、現在の沖縄で、多大な建設費用を伴う重粒子線治療施設を建設するのは、容易なことではない。また、それに携わる医療人材、放射線腫瘍医、放射線技師、医学物理士、加速器運転技術者などについても、まだまだ養成するべき成員が必要である。本研究開発は、最初の一歩として、世界最先端の高度診断施設を沖縄に設置し、(それは治療施設に比べれば、1桁以上少ない投資で可能)、それを確実に実現し、多くの先進医療の人材を養成し、盤石な医療関連産業

の基盤を構築することを狙っている。このような地道で戦略的なプロセスの先には、沖縄県内に重粒子線がん治療施設が新設・運営されることは十分視野に入る。沖縄は独特的な文化と伝統、そして、豊かな健康・観光資源があり、重粒子線医療を契機に世界でも有数の次世代型の地域社会を形成する可能性を秘めていると考える。

---

注1 線量：放射線が物質に入ったときに、物質中で吸収されるエネルギー(単位質量当たり)を示す。正式には吸収線量とか照射吸収線量と言われる。

注2 飛程：粒子線が物質中でエネルギーを徐々に失って止まるまでの距離  
陽子ではエネルギー235MeVで身体中での飛程は30cmである。

注3 LET (Linear Energy Transfer)：放射線が物質中で吸収されるときの線量は、その放射線のエネルギーによって変化する。物質中では放射線が進むにつれて、エネルギーを徐々に失っていくため、LETは連続的に変化していく。一般にエネルギーが高いときにはLETは低く、エネルギーが低くなるにつれてLETは増加する。物質中の単位長さ当たりの吸収線量で表され、普通、単位としては keV/ μmで表わされる。

注4 RBE (Relative Biological Effectiveness)：X線に比べて、細胞の生残率が同じになる線量が重粒子線では少なくて済む。その時の両者の線量の比で定義される。LETに大きく依存する。

注5 OER (Oxygen Enhancement Ratio)：細胞の放射線感受性は、周囲に酸素があるか、欠乏しているかで、大きく異なる。このときに、同じ生残率を示す線量の比で定義される。LETに大きく依存するが、重粒子線の場合、この差が小さく1に近い。

注6 非侵襲的：医学的検査や処置などをを行う場合、患者に大きな身体的負担(痛みや危険)がかからないで済むことをいう。

注7 現在の第三次沖縄振興計画(10年毎)は2011年に終了する。その後の振興計画についての議論(米軍基地返還の跡地利用を含む)が諸方面で検討されつつある。

# アジア便り 大連 vol.18



レポーター：宮里 琢巳（琉球銀行）

みずほコーポレート銀行(中国)有限公司  
大連支店にてトレーニーとして在籍中

## 中国本土～台湾直行便就航拡大

2008年12月15日より中国本土～台湾の空、海の就航拡大措置が実施され、双方の直行便の運行が開始されました。当時は朝8時の上海～台湾桃園国際空港行きが第一便となり、テレビ、新聞等で大々的に報道されました。日本のNHK等でも報道されていたのでご存知の方も多いかと思います。

当地のマスコミ等では中台間の三通「通信、通商、通航」の本格スタートという表現でのニュースになっていました。

航空便は従来の週末運行から、平日運行へ拡大されたほか、毎週100便を超える運行枠が与えられ、中国本土側では16カ所の空港からの発着が可能となり、また、海運便では63カ所の港で台湾向けの直行便取り扱いが始まりました。



大連市街地の様子

これまで、中国本土～台湾間を結ぶ定期直行便はなく、香港やマカオを含む第三国を経由しての往来のみで、時間的にもかなりのロスを強いられていました。

しかしながら、今回の直航便の実現により上海～台北間の飛行時間は片道1時間半弱になり、中台間は日帰り可能な生活圏内に入ったと言えます。海運直行便による時間短縮では、運行時間の短縮や、台湾から本土向け農産物の輸出の増加なども期待され、台湾側の政府推計では年間30億台湾ドル（日本円換算で約80億円）の経済効果が見込まれています。

一方で、先述のとおり、これまで台湾と本土の交通の際には第三国を経由する必要があったため、航空便では、香港、マカオが主要な中継地点、海運便ではマカオ、沖縄（石垣島）が主要な中継地点となっていました。今回の直行便就航拡大は既存のそれぞれの航路に大きな影響を与えるという見方も出ています。

マカオ空港は延べ旅客数の約40%（約200万人、2008年通計）を台湾旅客に頼っており、石垣島税関も外国船籍の90%が中台間の航路でした。中国本土～台湾間の直行便の就航により、マカオや石垣島など、両者の今後の取扱高は激減す

るという見通しが出ています。

マカオの民航局では早速、空港利用料金の減免などを表明し、海外航空会社の誘致に力をいれ、これまでの中台ルート以外の顧客確保を目指す対策を立てています。



大連市街地風景

現在、那覇～上海の航空便は週2回発着していますが、この便における台湾ビジネス旅客数の割合はマカオほど大きくないため、今回の直行便開放による影響はそれほど大きくはありません。

しかし、石垣島税関の取り扱いに対しては大きな減少要因となる可能性が高いというのが大方の見方となっています。沖縄県がこの減少分をどのように補っていくのか、今後の対応が注目されます。



大連市内を走る路面電車

また、台湾から中国本土への航空便が増えたことで、沖縄から中国本土への移動時間も短縮されるケースも出てきます。これまで那覇空港から中国本土に行く場合、週2便の上海直行便を利用するか、あるいは福岡、ソウル、香港を経由するという選択肢が一般的でした。

しかし、今後は、台北経由便(一日2便)も新たな選択肢に加わってきます。台北からは中国の主要都市への航空便が充実しており、目的地によっては上海直行便を利用するよりも便利なケースも出てくることになると考えられます。



大連市政府庁舎

今回の中国本土～台湾間の航空路線及び海上航路の直行便就航拡大は様々なメリットをもたらす反面、香港やマカオ並びに沖縄県などはこれまでの旅客や貨物等を失うことにつながり、経済的にもかなりの痛手を受けることになります。これらへの早急な対応が求められます。

以上

りゅうぎんビジネスクラブ主催

## 「これだけは押さえておきたい！ リスク対策としての労務管理のツボ」セミナーご案内

りゅうぎんビジネスクラブでは、会員企業の経営者様ならびに実務担当者様向けに

「これだけは押さえておきたい！リスク対策としての労務管理のツボ」

～不況の時代だからこそ求められる最低限労働法～

と題してセミナーを開催致します。

講師として、アクタスマネジメントサービス株式会社シニアマネージャー・社会保険労務士の江原努氏をお招きし、労使トラブルのリスク対策として、労務管理(労基署調査、サービス残業、解雇、就業規則、非正規社員の扱いなど)について、最新のトピックを織り交ぜながら、皆様の企業経営にお役に立つポイントを、基本から丁寧に解説して頂きます。

ご多忙とは存じますが、皆様の企業経営のご参考としていただきたく、日程を調整の上、ご参加いただけますようよろしくお願ひ申し上げます。

### 記

日 時:平成21年2月18日(水) 午後 2:00~5:00

会 場:沖縄ハーバービューホテルクラウンプラザ 2F 彩海の間

テ マ:「これだけは押さえておきたい！リスク対策としての労務管理のツボ」  
～不況の時代だからこそ求められる最低限労働法～

講 師:江原 努 氏

(アクタスマネジメントサービス(株) シニアマネージャー・社会保険労務士)

募集人員:先着100名様(1社4名様まで)

※席に限りがございますのでお早めにお申込み下さい

参 加 料:ビジネスクラブ会員は4名様まで無料、非会員は1名様2,000円

※非会員様の場合、参加料金支払方法は別途ご連絡差し上げます。

申込方法:下記参加申込書にご記入の上、FAXでお送りいただくか琉球銀行のお取引店へご提出下さい。

**FAX:(098)866-4483**

\*\*\*\*\* セミナー参加申込書 \*\*\*\*\*

御 社 名			琉球銀行 取引店名
参加者名	ご職位		お 名 前
参加者名	ご職位		お 名 前
参加者名	ご職位		お 名 前
参加者名	ご職位		お 名 前

※琉球銀行が本セミナーの申込によってお知らせいただいた個人情報は本セミナーの運営、各種案内送付、各種サービスのご提案のために利用させていただきます。

お問い合わせ先:企業支援部 金融サービス室(りゅうぎんビジネスクラブ事務局)

担当:竹越・臼井 TEL(098)860-3817 FAX(098)866-4483

# ●りゅうぎん調査● 県内の景気動向

## 概況(12月)

景気は、足踏みが続いている

観光関連では、入域観光客数が前年を下回る

消費関連では、スーパー(総合店)が前年を上回る

12月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店売上高は衣料品の減少などにより引き続き前年を下回った。スーパー売上高は、既存店では引き続き前年を下回ったが、全店では新設店効果などから引き続き前年を上回った。新車販売は、小型乗用車などが減少したことから引き続き前年を下回った。電気製品卸売はDVDレコーダーの増加などから前年を上回った。建設関連では、公共工事請負金額は、県、市町村などが増加したことから前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事の減少により引き続き前年を下回った。建設資材出荷・売上では、セメント、生コン、鋼材は前年を上回ったものの、木材は引き続き前年を下回った。入域観光客数は、国内客、外国客ともに減少したことから引き続き前年を下回った。主要ホテルは、稼働率は前年と同水準となり、売上高は引き続き前年を下回った。主要観光施設の入場者数は前年を下回った。

総じてみると、観光関連は概ね好調に推移し、消費関連は底堅く推移しているが、建設関連は一部で持ち直しているものの全体では弱いことから、県内景気は足踏みが続いている。

### 消費関連

百貨店売上高は、主力である衣料品の減少が続いていることなどから5カ月連続で前年を下回った。スーパー売上高(既存店)は、食料品、衣料品ともに減少したことにより5カ月連続で前年を下回った。全店ベースでは新設店効果などにより、17カ月連続で前年を上回った。新車販売は、小型乗用車や軽自動車などが減少したことにより7カ月連続で前年を下回った。電気製品卸売販売は、テレビやエアコン、白物家電などが減少したものの、DVDレコーダーやその他が増加したことにより2カ月ぶりに前年を上回った。

### 建設関連

公共工事請負額は、国は減少したものの、県、市町村などが増加したことから3カ月ぶりに前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は増加したものの、公共工事が減少したことから2カ月連続で前年を下回った。建設資材関連では、セメント、生コンとともに2カ月連続で前年を上回った。鋼材は単価、出荷量の増加から4カ月連続で前年を上回った。木材は改正建築基準法の影響が一部で引き続きみられたことなどから18カ月連続で前年を下回った。

### 観光関連

入域観光客数は2カ月連続で前年を下回った。国内客は2カ月連続で前年を下回り、外国客はクルーズ船の寄港がなかったことなどから2カ月ぶりに前年を下回った。県内主要ホテルは、稼働率はリゾートが上昇したが、那覇市内が低下したことから全体では前年と同水準となった。売上高は那覇市内の減少が影響し、2カ月連続で前年を下回った。主要観光施設の入場者数は10カ月ぶりに前年を下回った。主要ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに前年を下回った。

### 雇用関連

新規求人件数(11月)は前年同月比26.3%減となり12カ月連続で減少した。有効求人倍率(季調値)は0.32倍と前月より0.02ポイント低下した。完全失業率は7.7%と前年同月より1.2ポイント悪化した。

### その他

消費者物価指数(11月)は、食料、光熱・水道、被服履物、住居などが上昇したことから、前年同月比1.7%の上昇と14カ月連続で前年を上回った。企業倒産は、件数が6件と前年同月より2件減少し、負債総額は11億1,500万円となり前年同月比32.7%の減少となった。

## りゅうぎん調査(2008年12月)

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2008.10—2008.12)
<b>1. 消費関連</b>		
(1)百貨店(金額)	▲ 6.8	▲ 5.7
(2)スーパー(既存店)(金額)	▲ 2.7	▲ 1.6
(3)スーパー(全店)(金額)	1.8	2.4
(4)新車販売(台数)	▲ 9.2	▲ 8.4
(5)電気製品卸売(金額)	8.3	6.6
<b>2. 建設関連</b>		
(1)公共工事請負金額(金額)	28.1	▲ 5.3
(2)建築着工床面積(m <sup>2</sup> )	(11月) 56.4	(9-11月) 50.9
(3)新設住宅着工戸数(戸)	(11月) 173.3	(9-11月) 125.3
(4)建設受注額(金額)	▲ 16.8	▲ 0.2
(5)セメント(トン数)	4.2	3.5
(6)生コン(m <sup>3</sup> )	12.8	7.4
(7)鋼材(金額)	38.5	26.0
(8)木材(金額)	▲ 11.0	▲ 6.9
<b>3. 観光関連</b>		
(1)入域観光客数(人数)	▲ 1.5	1.3
(2)県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 0.0	(前年同期差) ▲ 1.9
	(実数) 66.4	(実数) 73.0
(3) " 売上高(金額)	▲ 0.1	0.4
(4)観光施設入場者数(人数)	▲ 2.2	1.4
(5)ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 3.1	▲ 2.0
(6) " 売上高(金額)	▲ 9.4	▲ 7.7
<b>4. その他</b>		
(1)県内新規求人數(人数)	(11月) ▲ 26.3	(9-11月) ▲ 21.9
(2)有効求人倍率(季調値)	(実数、11月) 0.32	(実数、9-11月) 0.34
(3)消費者物価指数(総合)	(11月) 1.7	(9-11月) 2.1
(4)企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 2	(前年同期差) ▲ 1.0
(5)広告収入(県内マスコミ)(金額)	(11月) ▲ 5.2	(9-11月) ▲ 3.1
(6)電力使用量(百万Kw)	(11月) 2.1	(9-11月) 0.8

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。  
県内新規求人數、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。

(注2) 企業倒産件数の前年同期差は、月平均件数の前年同期差。

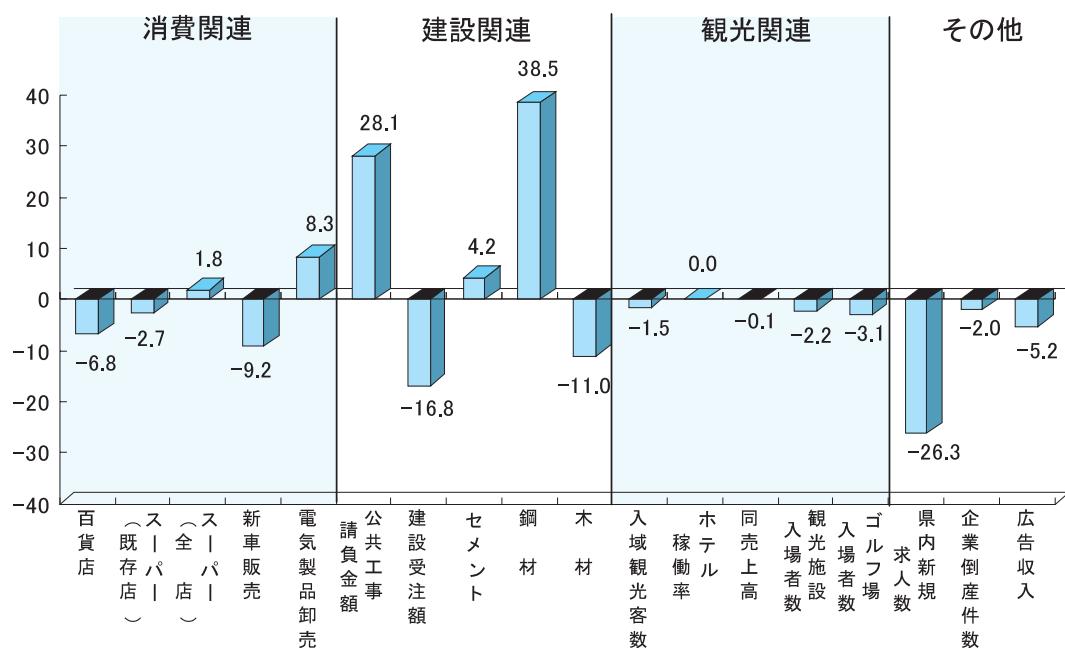
(注3) 電気製品卸売販売額は、2007年6月より調査先を10社から9社へと変更した。

(注4) 主要ホテルは、2008年12月より調査先を18ホテルから17ホテルとした。

(注5) ゴルフ場は、2006年10月より調査先を9ゴルフ場から8ゴルフ場とした。

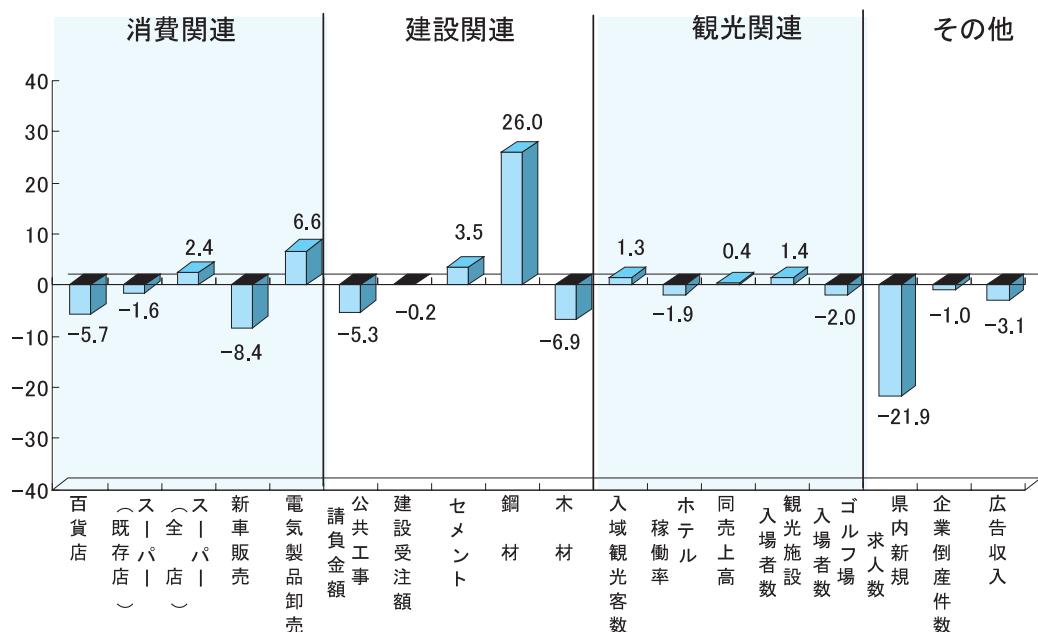
(注6) 木材は2008年1月より建材から名称を改めた(木質建材が主であることから)。

項目別グラフ(単月、2008年12月)



(注) 県内新規求人件数、広告収入は08年11月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。

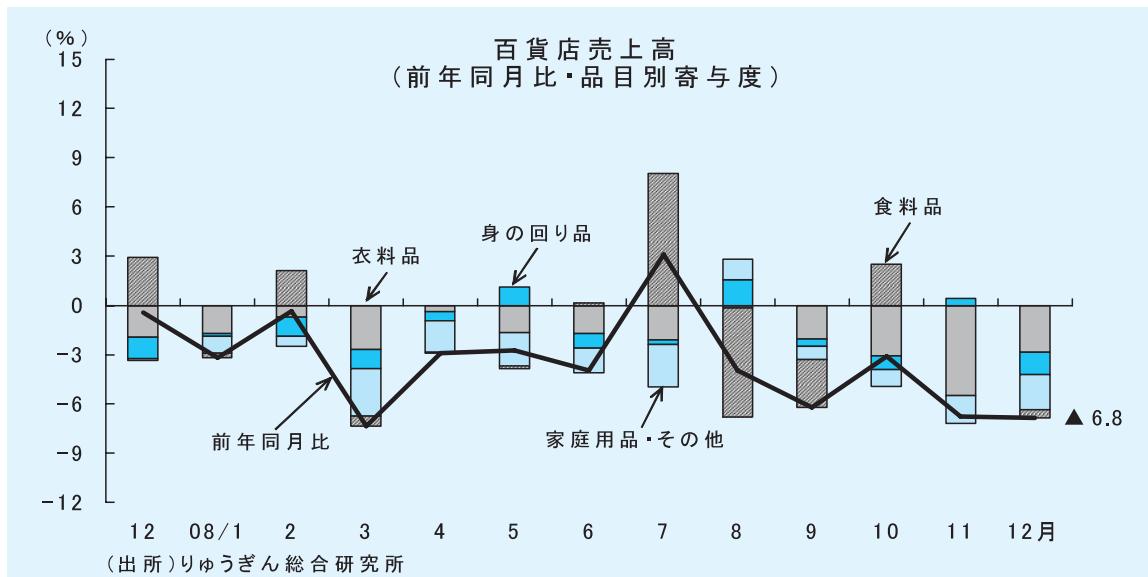
項目別グラフ(3カ月、2008年10~12月)



(注) 新規求人件数、広告収入は08年9~11月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は月平均の前年差。

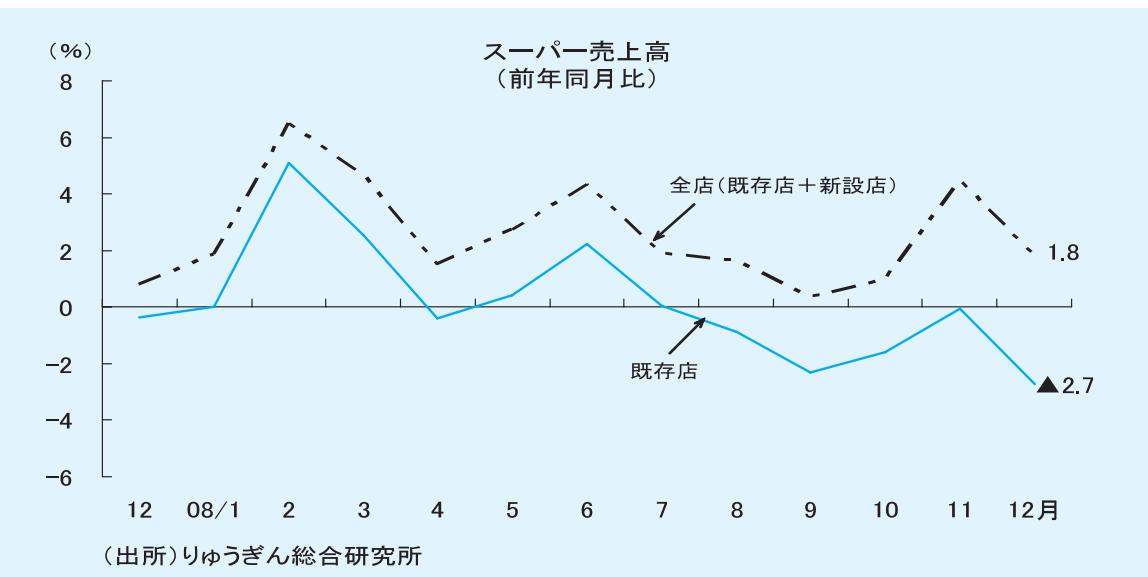
# 1.消費関連

## ①百貨店売上高:5カ月連続で減少



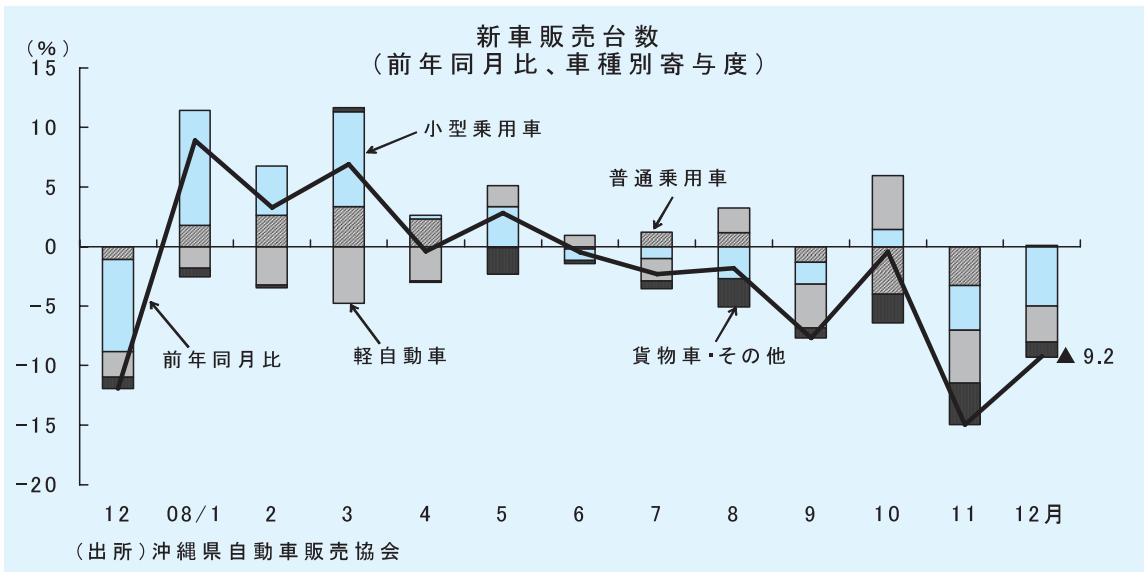
- ・百貨店売上高は、主力である衣料品の減少が続いていることなどから前年同月比6.8%減と5カ月連続で前年を下回った。
- ・品目別にみると、衣料品(同8.9%減)、身の回り品(同12.2%減)、食料品(同1.3%減)、家庭用品・その他(同10.5%減)が減少した。

## ②スーパー売上高:全店ベースは17カ月連続で増加



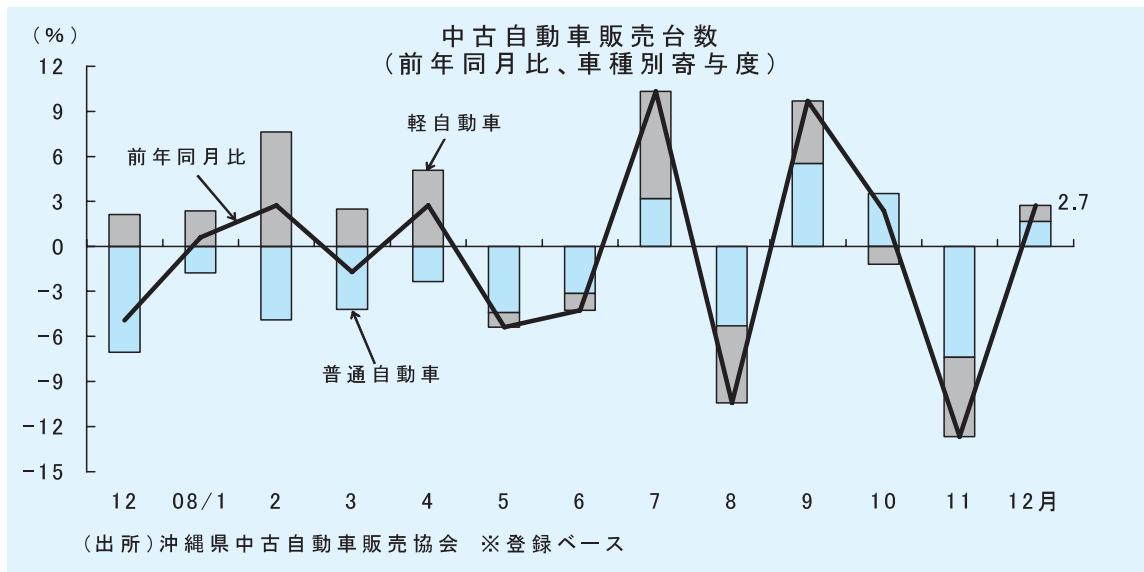
- ・スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比2.7%減と5カ月連続で前年同月を下回った。
- ・食料品は、一部買い控えがみられたことなどにより同1.6%減となり、衣料品は同7.7%減と引き続き減少した。
- ・全店ベースでは、新設店効果により同1.8%増と17カ月連続で増加した。

### ③新車販売台数:7カ月連続で減少



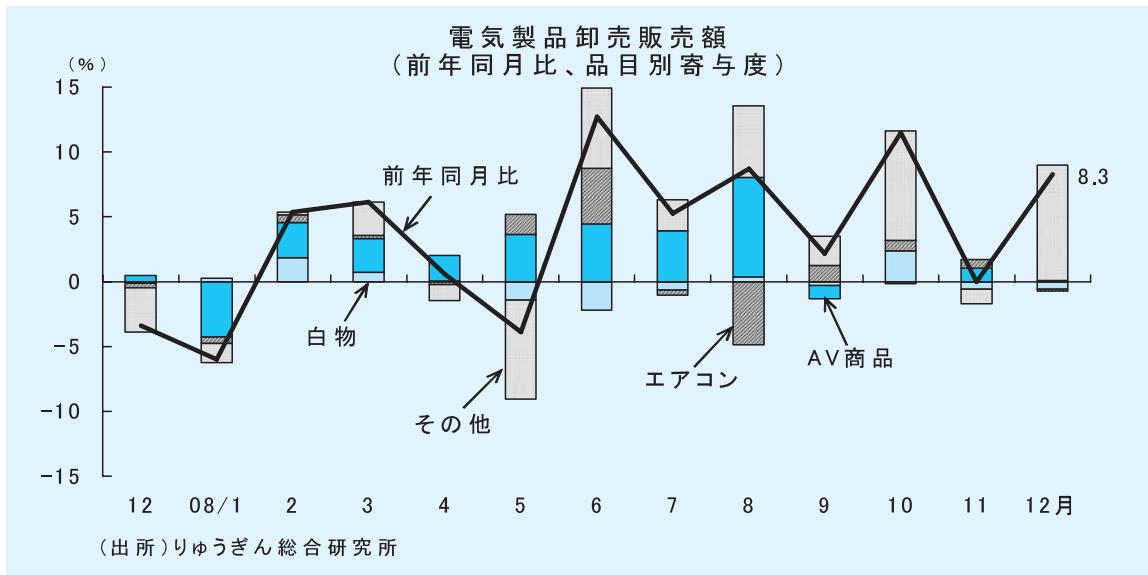
- 新車販売台数は2,820台となり、軽自動車、小型乗用車などが減少したことから前年同月比9.2%減と7カ月連続で前年を下回った。
- 普通自動車(登録車)は1,005台(同15.1%減)で、うち普通乗用車は243台(同1.3%増)、小型乗用車は663台(同19.0%減)であった。軽自動車(届出車)は1,815台(同5.6%減)で、うち軽乗用車は1,552台(同5.7%減)であった。

### ④中古自動車販売台数(登録ベース):2カ月ぶりに増加



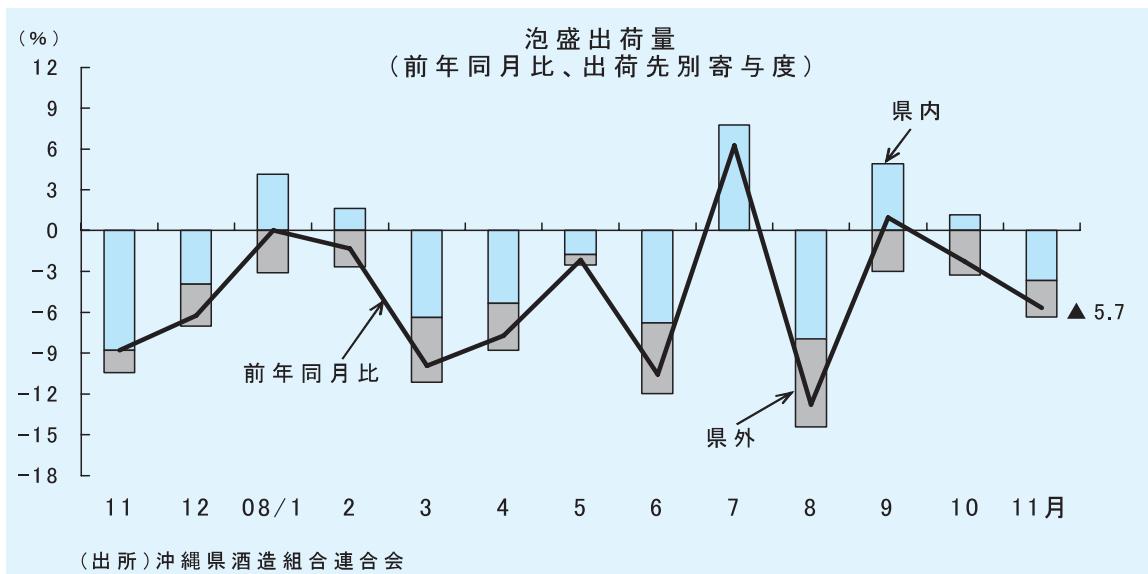
- 中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は、前年同月比2.7%増となり2カ月ぶりに前年を上回った。内訳では、普通自動車は同3.6%増、軽自動車は同2.0%増となった。

## ⑤電気製品卸売販売額：2カ月ぶりに増加



- 電気製品卸売販売額は、テレビや白物家電、エアコンなどが減少したものの、D V Dレコーダーやその他が増加したことから、前年同月比8.3%増となった。
- 品目別にみると、AV商品ではテレビが同0.8%減、D V Dレコーダーが同20.6%増、白物では洗濯機が同5.3%減、冷蔵庫が0.9%減、エアコンが同8.5%減、その他は同19.2%増となった。

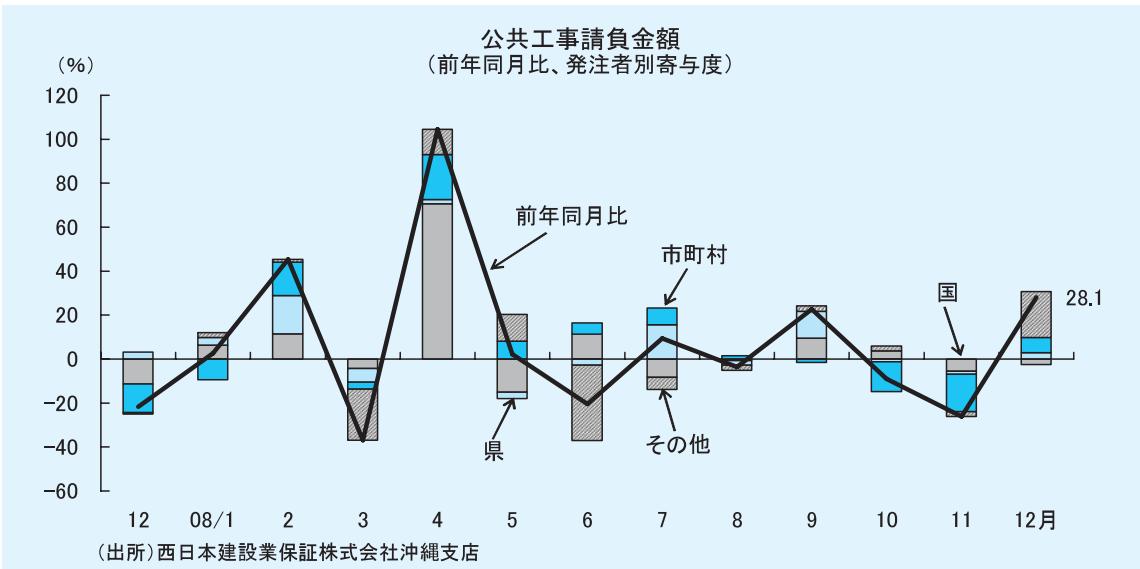
## ⑥泡盛出荷量：2カ月連続で減少



- 泡盛出荷量(11月)は、前年同月比5.7%減と2カ月連続で前年を下回った。県内出荷量は同3.6%減となり、県外出荷量は同14.5%減となった。

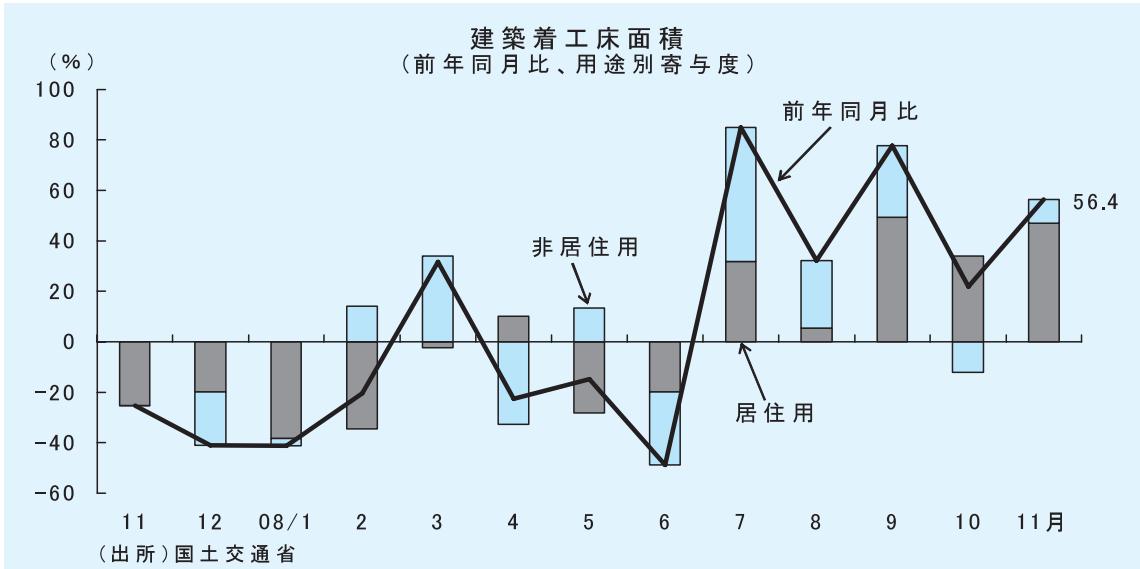
## 2. 建設関連

### 1 公共工事請負金額:3カ月ぶりに増加



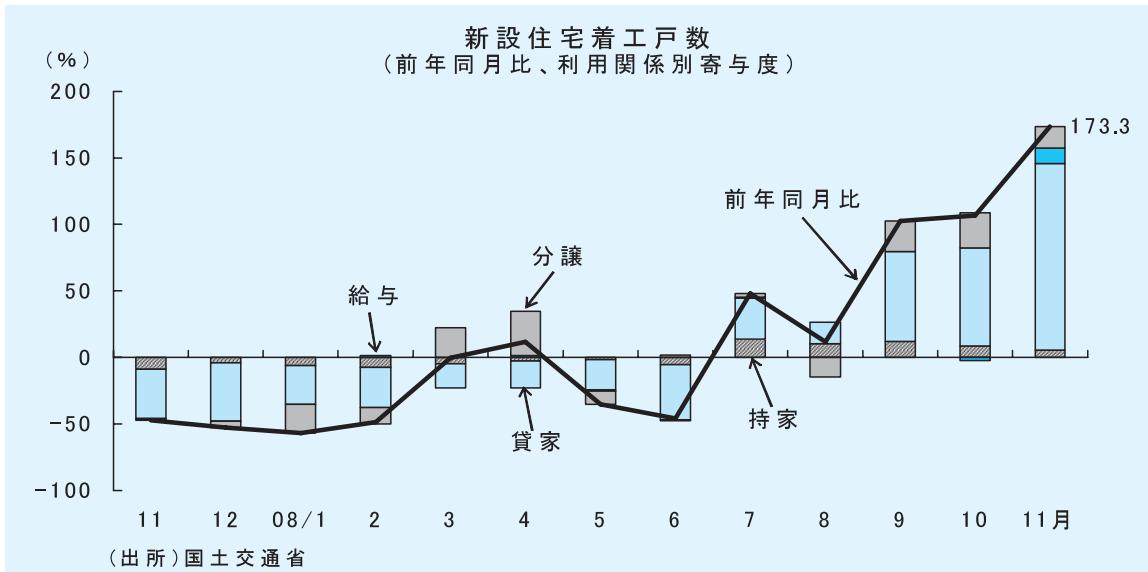
- ・公共工事請負金額は、196億8,100万円で前年同月比28.1%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・発注者別では、国(同9.8%減)が減少したものの、県(同10.0%増)、市町村(同17.8%増)、独立行政法人等・その他(同329.7%増)が増加した。
- ・大型工事としては、沖縄科学技術大学院大学(仮称)研究棟1・センター等新営その他工事(その1)、伊良部大橋橋梁整備第3期工事(上部工その2)、国道507号1号トンネル(仮称)新設工事、沖縄市体育館建設工事(建築工事)などがあった。

### 2 建築着工床面積:5カ月連続で増加



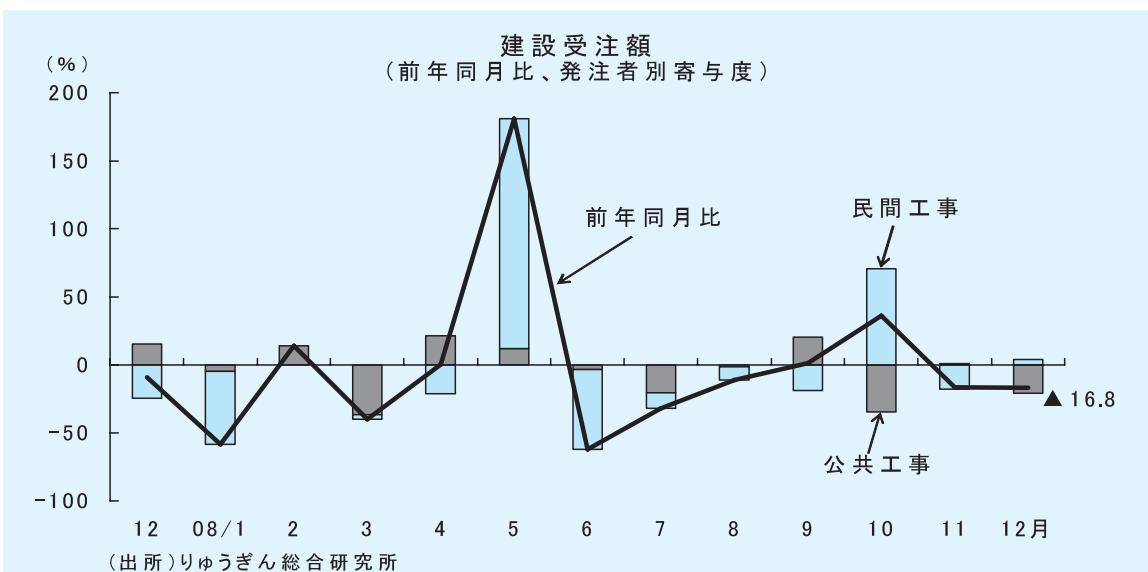
- ・建築着工床面積(11月)は、22万2,472m<sup>2</sup>で前年同月比56.4%増と前年の改正建築基準法施行による影響の反動などにより5カ月連続で前年を上回った。用途別では、居住用(同162.8%増)、非居住用(13.2%増)とともに増加した。
- ・建築着工床面積を用途別(大分類)みると、居住用では居住専用が増加し、非居住用ではその他のサービス業用、教育・学習支援業用などが増加し、卸売・小売業用などが減少した。

### ③新設住宅着工戸数:5カ月連続で増加



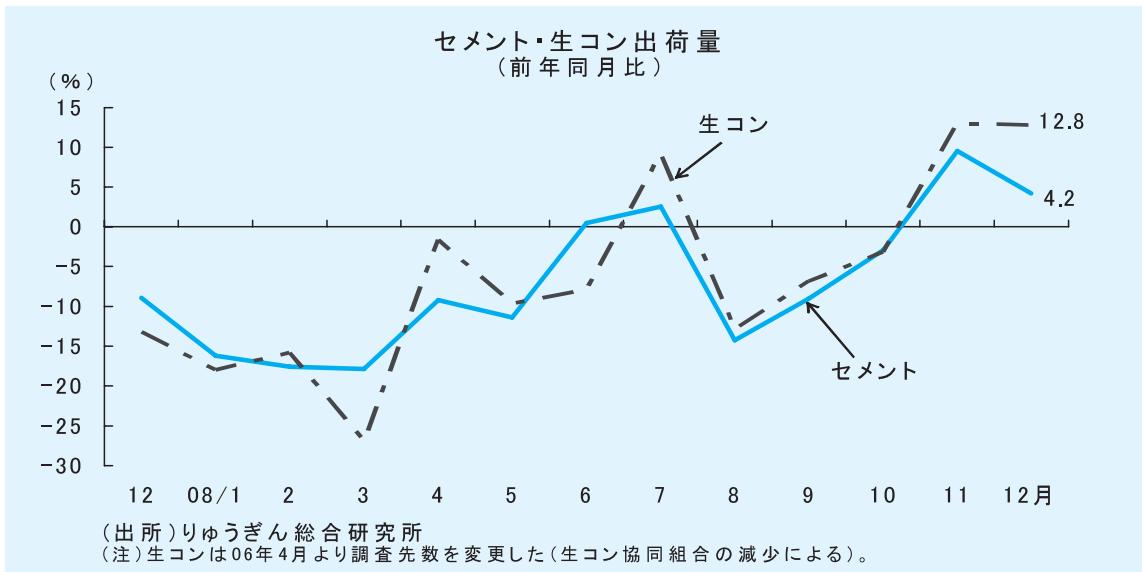
- 新設住宅着工戸数(11月)は1,383戸となり、前年の改正建築基準法施行の影響による反動増などにより前年同月比173.3%増と5カ月連続で前年を上回った。
- 利用関係別では、持家(同18.5%増)、貸家(同231.7%増)、分譲(同165.3%増)、給与(全増)ともに増加した。

### ④建設受注額:2カ月連続で減少



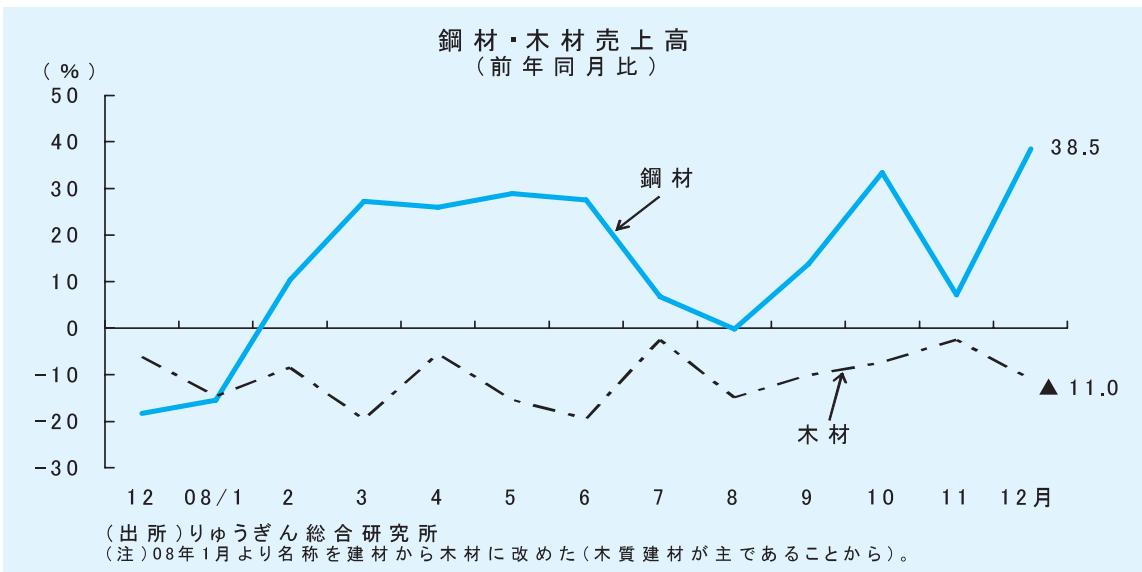
- 建設受注額(調査先建設会社:20社)は、前年同月比16.8%減と2カ月連続で前年を下回った。
- 発注者別では、民間工事(同9.3%増)は2カ月ぶりに増加したもの、公共工事(同38.0%減)は2カ月ぶりに減少した。

## ⑤ セメント・生コン:ともに2カ月連続で増加



- セメント出荷量は、8万5,616トンで前年同月比4.2%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 生コン出荷量は、19万7,011立方メートルで同12.8%増と公共工事、民間工事向け出荷ともに増加したことから2カ月連続で前年を上回った。
- 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、一般土木工事や学校関連工事向けなどが増加した。民間工事では、分譲マンションや医療関連工事向けなどが増加した。

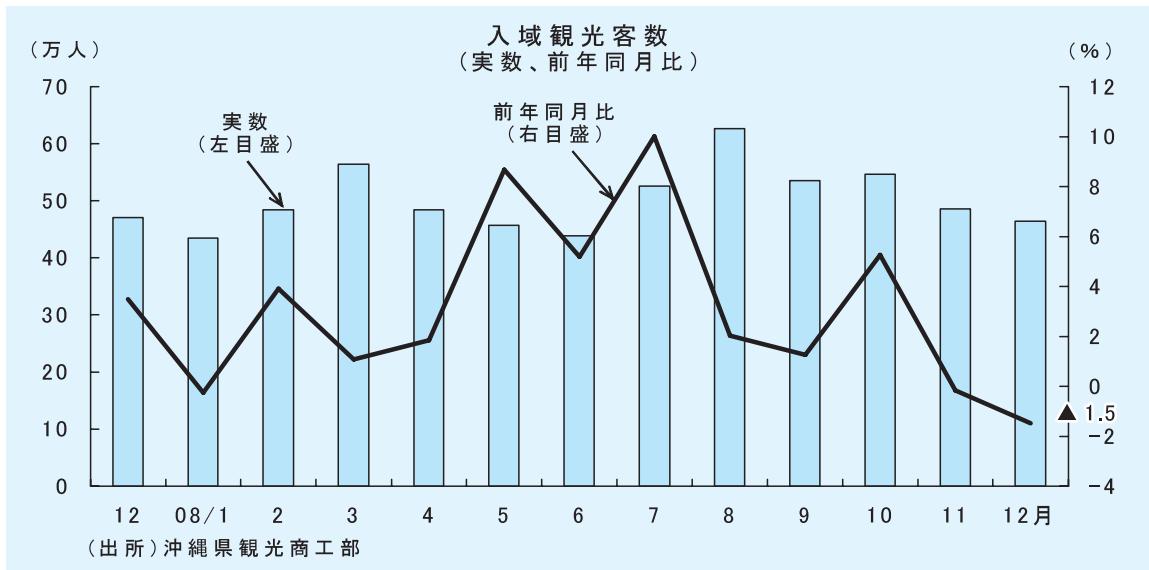
## ⑥ 鋼材・木材:鋼材は4カ月連続で増加、木材は18カ月連続で減少



- 鋼材売上高は、販売単価が前月と比較すると低下傾向にあるものの、前年よりは高い水準にあることや一部先において大型プロジェクトへの出荷量の増加がみられたことなどから前年同月比38.5%増と4カ月連続で前年を上回った。
- 木材売上高は、改正建築基準法の影響が一部残っていることや販売単価が低下傾向にあることなどから同11.0%減と18カ月連続で前年を下回った。

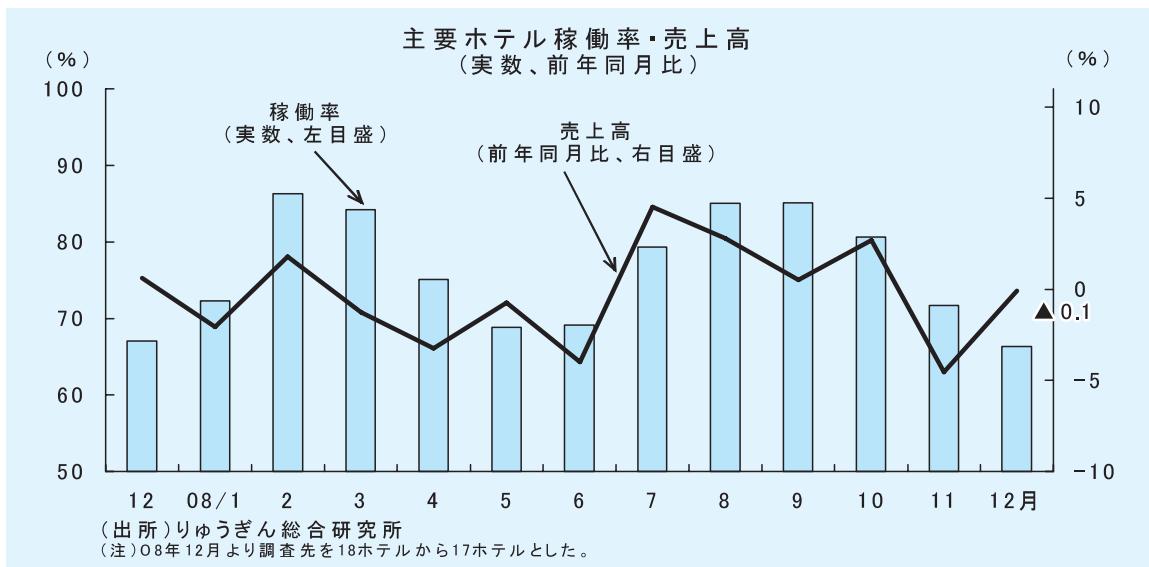
### 3.観光関連

#### 1 入域観光客数:2カ月連続で減少



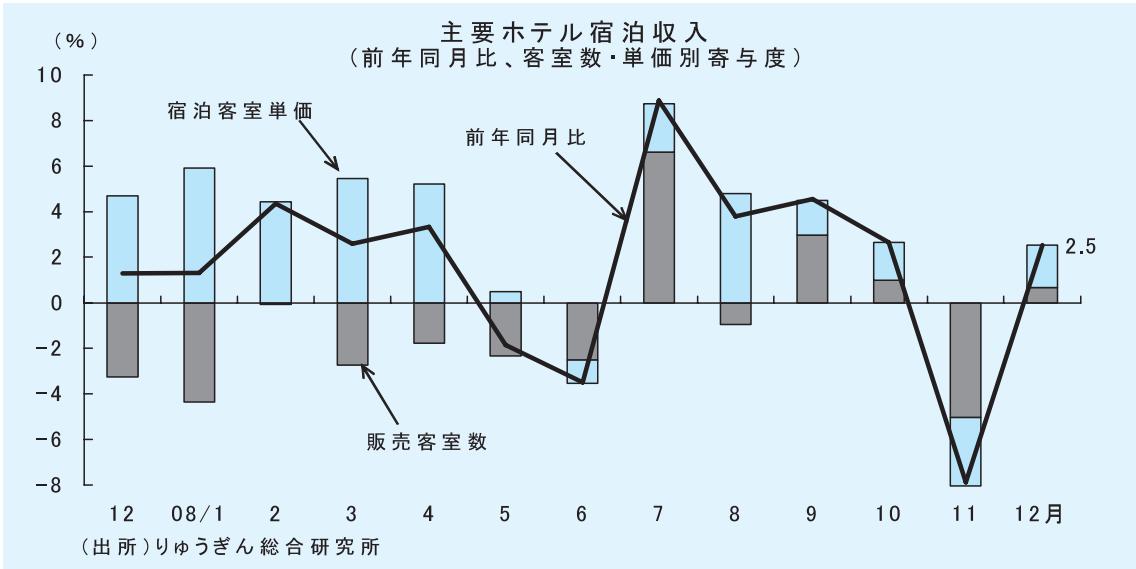
- ・入域観光客数は46万4,000人で、前年同月比1.5%減(7,000人減)となり、2カ月連続で前年を下回った。
- ・国内客(同0.8%減)は2カ月連続で前年を下回った。景気先行きの不安感からの旅行手控え、あるいは旅行先の国内近場への変更などがあったと考えられる。外国客(同31.3%減)は、大型クルーズ船の寄港がなかったことなどから海路での入域が大幅に減少し、2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・1月1~20日の本土発沖縄向け航空旅客輸送実績(スカイマークエアラインズを除く)は前年同期比4.0%減となり2カ月ぶりに前年を下回った。

#### 2 主要ホテル稼働率・売上高:稼働率は同水準、売上高は2カ月連続で減少



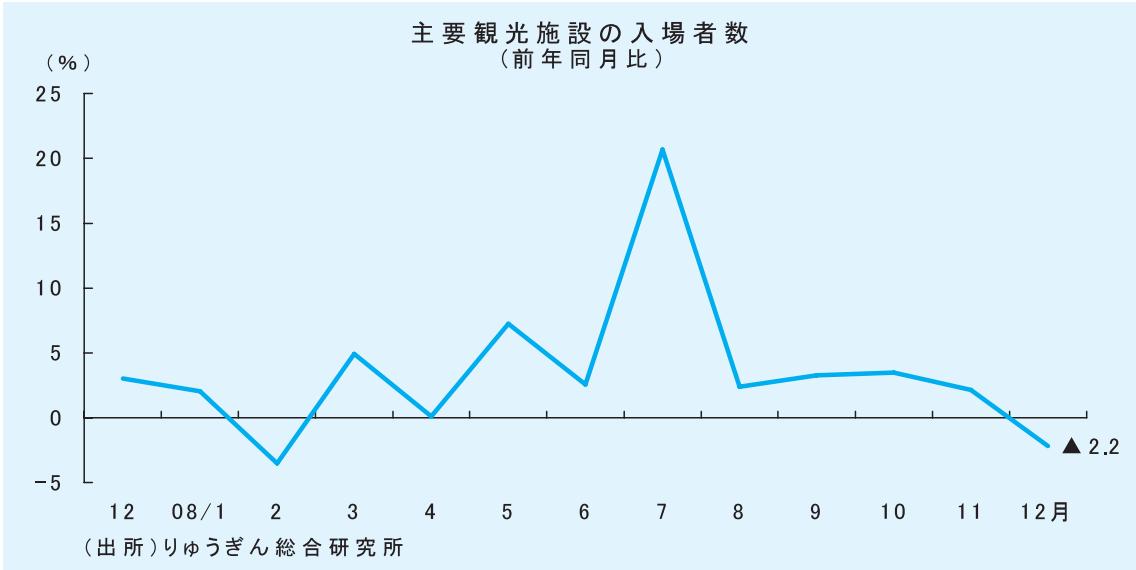
- ・主要ホテルの客室稼働率は、66.4%と前年同月と同水準となった(調査先数変更によるデータ修正後の前年客室稼働率は66.4%)。売上高は同0.1%減少し、2カ月連続で前年を下回った。
- ・那覇市内ホテルの客室稼働率は、67.4%で同1.4ポイント低下した(同前年客室稼働率68.8%)。売上高は同3.0%減となった。リゾート型ホテルの客室稼働率は、65.7%で同0.9ポイント上昇した(同前年客室稼働率64.8%)。売上高は同1.7%増となった。

### ③主要ホテル宿泊収入:2カ月ぶりに増加



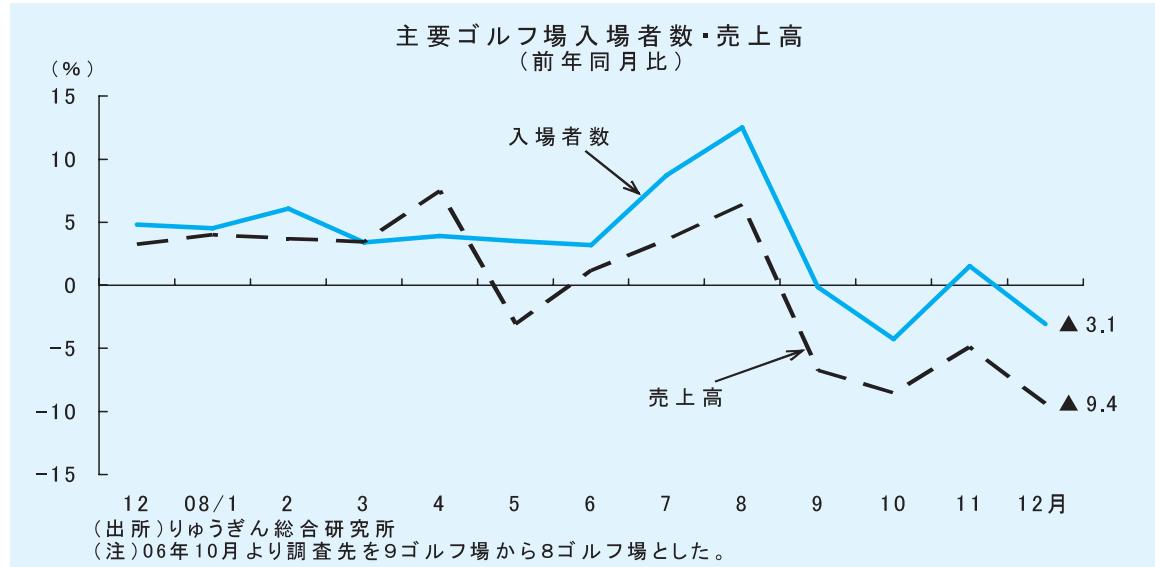
・主要ホテル売上高のうち宿泊収入についてみると、販売客室数(数量要因)が2カ月ぶりに増加し、宿泊客室単価(価格要因)も2カ月ぶりに増加したことから、全体では前年同月比2.5%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。

### ④主要観光施設の入場者数:10カ月ぶりに減少



・主要観光施設の入場者数は、前年同月比2.2%減少し、10カ月ぶりに前年を下回った。

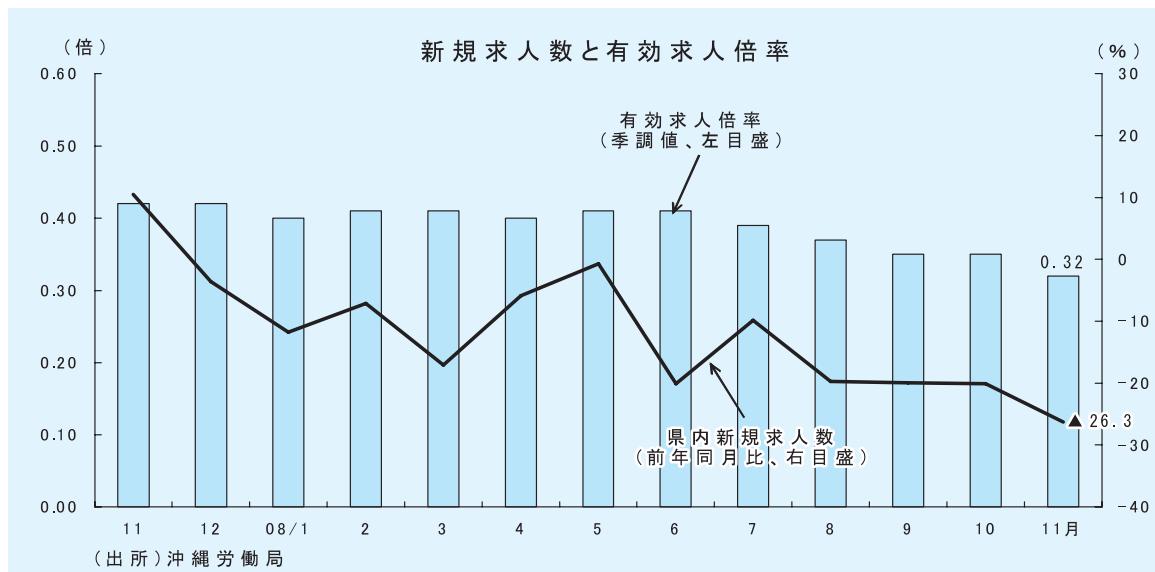
## ■主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は2カ月ぶりに減少、売上高は4カ月連続で減少



- 主要ゴルフ場の入場者数は前年同月比3.1%減となり、2カ月ぶりに前年を下回った。売上高は同9.4%減となり、4カ月連続で前年を下回った。観光客の入場者数は、外国客の入場が大幅に減少したことなどから前年を下回った。

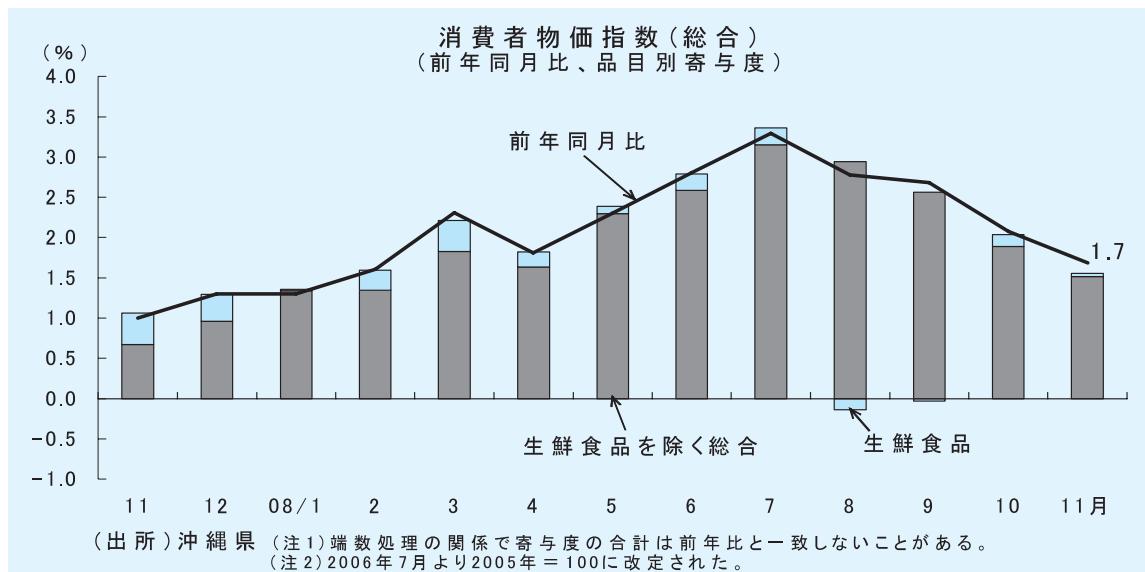
## 4.その他

### ■雇用関連：新規求人数は減少、有効求人倍率(季調値)は低下



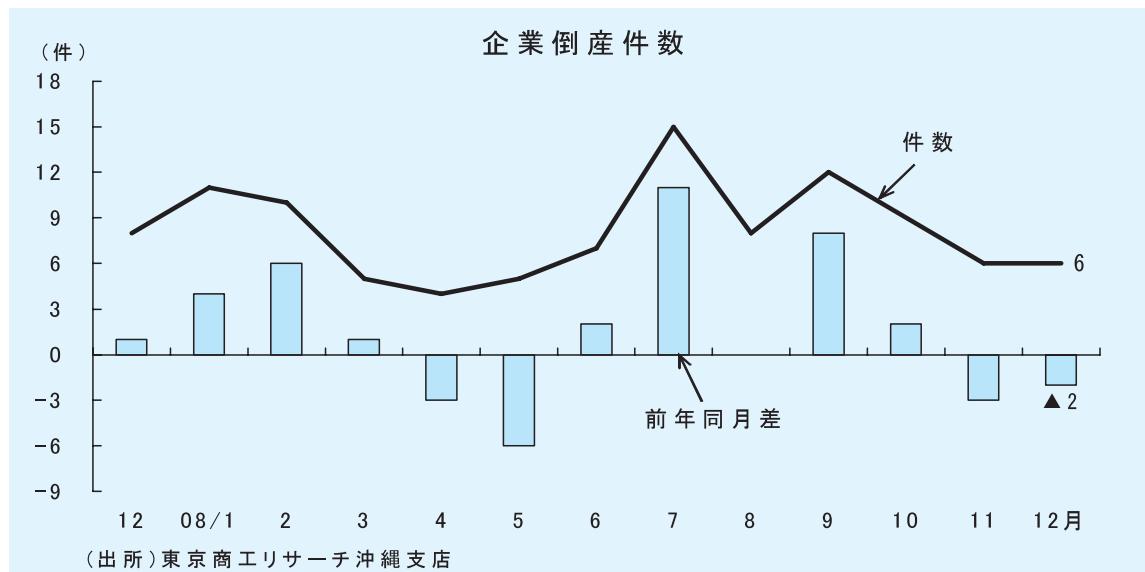
- 新規求人数(11月)は、前年同月比26.3%減となり12カ月連続で減少した。産業別にみると、建設業、製造業、情報通信業、卸売・小売業、飲食店、宿泊業、医療、福祉、サービス業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は0.32倍となり、前月より0.02ポイント低下した。
- 労働力人口(11月)は、65万9,000人で前年同月比2.5%増となり、就業者数は、60万9,000人で同1.3%増となった。完全失業者数は5万1,000人で同21.4%増となった。完全失業率は7.7%と前年同月より1.2ポイント悪化した。

## ②消費者物価指数(総合):14カ月連続で上昇



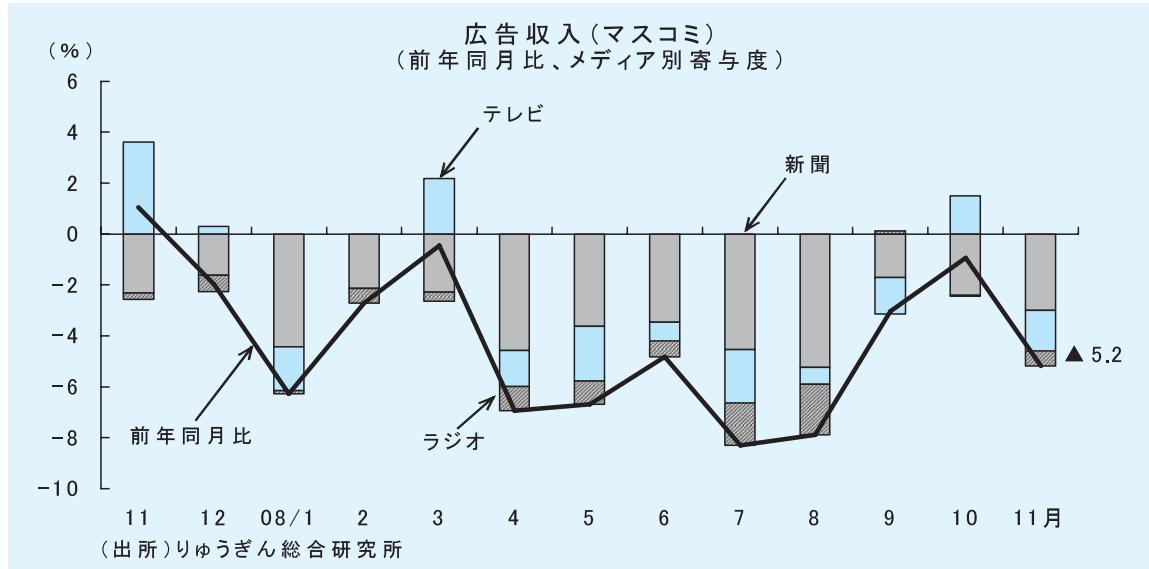
- ・消費者物価指数(11月)は、前年同月比1.7%の上昇となり14カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合も、同1.6%の上昇となった。
- ・品目別の動きをみると、食料、光熱・水道、被服及び履物、住居などが上昇し、交通・通信、教養娯楽、家具・家事用品、保健医療が下落した。

## ③企業倒産:件数、負債総額ともに減少



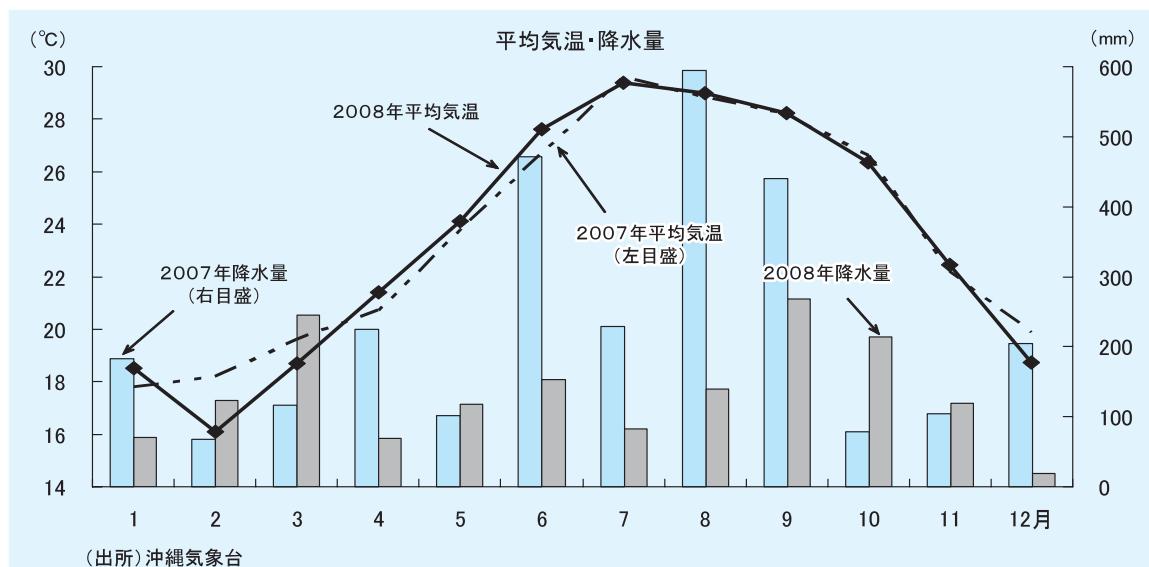
- ・倒産件数は、6件となり前年同月を2件下回った。業種別では、建設業3件(前年同月比3件減)、サービス業1件(同1件増)、製造業1件(前年と同数)、小売業1件(前年と同数)であった。
- ・負債総額は11億1,500万円となり、前年同月比32.7%の減少となった。

## ④広告収入(マスコミ):12カ月連続で減少



・広告収入(マスコミ:11月)は、前年同月比5.2%減少し、12カ月連続で前年を下回った。テレビ、ラジオ、新聞ともに前年を下回った。

## 参考 気象:平均気温・降水量(那覇)



・平均気温は18.7℃と前年同月(19.9℃)より低く推移したが、ほぼ平年並み(18.4℃)であった。降水量は19.5mmと前年同月(204.0mm)よりかなり少なかった。

# 原材料価格高騰に対応する 緊急保証制度

中小企業・個人事業主の皆さんに対し、平成20年10月31日より緊急保証制度（沖縄県信用保証協会保証）がスタートしております。本制度は、原材料価格の高騰により経営環境が悪化し、必要事業資金の円滑な調達に支障をきたしている中小企業者に対し、その事業資金を供給し、中小企業者の事業発展に資することを目的としております。

## !POINT!

※対象業種が698の業種へ大幅に拡大しております。

※融資期間は、10年以内（据置期間1年以内）です。

※一般保証2億8,000万円（うち無担保8,000万円）

に加え、別枠で2億8,000万円（うち無担保8,000万円）までご利用できます。

（※保証料は0.8%で通常より優遇されています）

運転資金も  
10年以内可能！

手続きは  
お済みですか？



詳しくは、お近くの**りゅうぎん**窓口または下記のフリーコールへお問い合わせください。

ハローバンク  
**0120-19-8689**

受付時間／月～金 9:00～17:00  
(※銀行休業日を除く)

※審査の結果、ご希望にそえない場合もございます。



Grant Thornton

2009年1月

# 平成21年度税制改正大綱

## 法人税関連

経理部門の基本有用情報

### 太陽 ASG 今月の経理情報

今回のテーマ： 平成21年度税制改正大綱～法人税関連～

平成20年12月12日与党の税制改正大綱が発表され、焦点とされていた消費税の引上げ時期の明記は見送られました。

#### 1. 外国子会社配当益金不算入制度

平成21年4月1日以後に開始する事業年度から、間接外国税額控除制度が廃止され、外国子会社※から受けける配当等の額について益金不算入とする制度が創設されます。ただし、全額が益金不算入となるのではなく、配当等に係る費用に相当する金額として配当等の額の5%相当額を控除し、残りの95%が益金不算入となります。

また、配当等に対して課される外国源泉税等の額は損金の額に算入されず、外国税額控除の対象にもなりません。

		借方	貸方	
		cash 80	受取配当金 100	費用相当額 5
損金不算入 20		外国源泉税 20		益金不算入額 95
		↑		

二重課税とならないため税額控除不可

タックス・ヘイブン対策税制の見直しも行われ、特定外国子会社等から受けける配当等はこの規定により非課税とされますが、特定外国子会社等が支払う配当等の額は合算対象所得に含まれ、現行どおり配当を行っても課税の対象となります。

※ 外国子会社

内国法人が外国法人の発行済株式等の25%以上の株式等を、配当等の支払義務が確定する日以前6月以上引き続き直接に有している場合のその外国法人をいいます。

#### 2. 中小企業対策税制

##### (1) 軽減税率の時限的引下げ

中小法人等※の平成21年4月1日から平成23年3月31日までの間に終了する各事業年度の所得金額のうち、年800万円以下の法人税の軽減税率が22%→18%に引き下げられます。

##### (2) 欠損金の繰戻し還付の復活

中小法人等※の平成21年2月1日以後に終了する各事業年度において生じた欠損金額については、欠損金の繰戻しによる還付制度の適用ができるようになります。

※ 「中小法人等」とは、資本金の額等が1億円以下であるものその他一定の法人をいいます。

#### 3. その他

・所有期間10年超の事業用資産の買換え特例（長期保有土地建物等の譲渡→土地建物等の取得）が3年間延長されます。

#### お見逃しなく！

政治情勢が不透明なため、国会での可決・成立までは経過を見守る必要があります。

このニュースレターのバックナンバーはホームページでご覧になれます。 <http://www.gtjapan.com>  
© Taiyo ASG Group. All rights reserved.

# りゅうぎん第11回プロ野球応援定期預金



取扱期間  
2009年2月2日月▶4月10日金

県内で春季キャンプを行う9球団を応援しよう!  
選んだ球団の成績で懸賞金がつく!

日本シリーズ優勝で

金利最大0.5%上乗せ



セ・リーグ  
CENTRAL LEAGUE

- ① 中日ドラゴンズ
- ② 東京ヤクルトスワローズ
- ③ 阪神タイガース
- ④ 広島東洋カープ
- ⑤ 横浜ベイスターズ

パ・リーグ  
PACIFIC LEAGUE

- ① オリックス・バファローズ
- ② 千葉ロッテマリーンズ
- ③ 東北楽天ゴールデンイーグルス
- ④ 北海道日本ハムファイターズ



## 商品概要

対象	個人のお客さま
預金種類	スーパー定期1年もの(証書式・自動継続) (初回の期日以降は通常のスーパー定期として取扱います)
預入金額	10万円以上1,000万円未満
適用金利	預入時のスーパー定期1年ものの店頭表示金利
懸賞金のお支払日	平成22年2月5日(金) [ご指定の口座にご入金いたします]
お申込方法	営業店窓口で専用申込書にお好きな球団の応援定期を選んでお申込みください。 (インターネットバンキング、ATMでの預入はできません)
中途解約時の取扱い	◆本預金を中途解約された場合、懸賞金はお受取りになれません。 ◆満期日前にご解約される場合は、当行所定の中途解約利率を適用いたします。
その他	◆ポイントサービスの定期預金の金利優遇は対象外とさせていただきます。 ◆この預金は預金保険の対象であり、同保険の範囲内で保護されます。 ◆金融情勢等により、お取扱内容等を変更する場合があります。

2009年プロ野球公式戦、  
日本シリーズの成績に応じて、  
次の懸賞金をお受取りになれます。

◆日本シリーズ優勝	0.5%	金利上乗せ
◆ペナントレース勝率1位	0.3%	
◆ペナントレース勝率2位・3位	0.1%	

\*ペナントレース勝率4位以下は懸賞金は受けられません。

\*ペナントレースの勝率1位から3位のチームについて上記金利相当額を上乗せします。  
ペナントレース後に行われるプレーオフ(クライマックスシリーズ)の順位は上乗せ金利に反映されません。  
ただし、日本シリーズで優勝した場合、ペナントレースの成績にかかわらず0.5%金利相当額を上乗せします。  
\*懸賞金には20%の税金がかかります。

くわしくはお近くの窓口か下記のフリーコールへどうぞ

ハローバンク

0120-19-8689

月~金 9:00~17:00(銀行休業日は除きます)

ながいおつきあい  
りゅうぎん  
琉球銀行

<http://www.ryugin.co.jp/>

平成21年2月2日現在

## ○ 第1回半島芸術祭in南城

一人(癒し)・自然・文化・芸術に光り輝く 知念半島・南城市一

沖縄本島南部の旧4町村(佐敷町、知念村、玉城村、大里村)が合併してできた南城市が位置する知念半島。その知念半島で2008年10月18日から26日の9日間、「第1回半島芸術祭in南城」が開催されました。「がんじゅう駅」など5カ所のメイン会場では地元特産の野菜市を始め、アフリカ・ドウルマ民族の太鼓演奏やアンティークフェア等幅広い内容で見物客を楽しませてくれました。また、34カ所のコア会場では、知念半島一帯の芸術家・職人達が展示物や演奏等で心を和ませてくれました。

知念半島には芸術家や職人達がたくさんいて、沖縄文化を創造し続けています。沖縄のSOHOとでも云うのでしょうか？同半島には、文化・芸術を創り出すエネルギーの源流があります。身近でみる作品は品格を有しながらもフランクかつ実用的でしかも価格がお手頃なものが多いのも特徴の一つです。

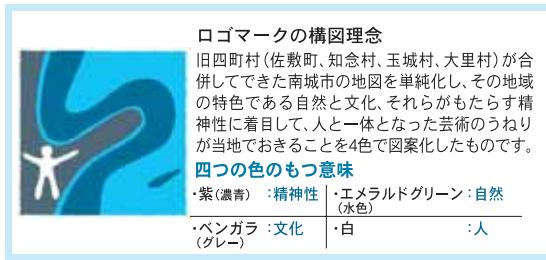
皆さんも知念半島をドライブしながら、各会場となつた製作販売所、アトリエ等を訪れ、直に作品に触ることで、人(癒し)・自然・文化・芸術が混在した非日常的なシーンを体感してみてはいかがでしょうか。次回の「半島芸術祭in南城」開催の際には、是非、足を運んで頂ければ、きっと、あなた自身の素敵な作品に出会えることでしょう。

知念半島を訪れると、リゾート中心ではなく、将来の沖縄観光の目指すべきヒントとなるものが見えてくるのではないでしょうか。



琉球銀行 佐敷支店長  
石垣 永信

半島芸術祭in南城のロゴマーク



出所：半島芸術祭in南城実行委員会

## ○ 中期経営計画のすすめ

— 5年後描き羅針盤に —

今回は事業経営者の皆様へ中期経営計画の重要性と簡単な作成方法(「樂々中期経営計画法」平田周著を参照した)を紹介します。

特別な知識が無くても大丈夫、簡単シンプルで結構、向こう5年間の自社のあるべき姿を描くことです。作成に当たり注意すべきは、努力しだいで実現可能な計画とすることです。願望に基づく実現不可能な計画では意味がありません。

まずはこれだけは欲しいと考えられる利益(期待利益)を決めます。利益は信頼の基、取引先からの信用、金融機関からの資金調達にも大きく影響します。可能な限り多いのが望ましいでしょう。次に人件費等必要経費を過去の実績を基に予想算出します。期待利益と必要経費を賄える付加価値(粗利)を生み出せばOKです。この方法で5年分を作ります。シンプルでもこの数字が達成できれば経営は安泰であると言う「基準」が出来上がります。後はその基準を達成するための売上目標、経費管理等について社員と一緒に策定します。社員にとっても自社の向こう5年間を考えるいい機会になります。

事業の業績には未来しかありません。過去にいくら儲かっても衰退に向かっていては未来がありません。足元は厳しくとも、5年先を見据えた中期経営計画があれば、取引先そして金融機関からの信頼も得られます。もちろん計画と現実に差異があれば原因究明し、軌道修正等が必要です。

厳しい経済情勢が想定される今の時期こそ中期経営計画を策定し、未来のあるべき姿を目指す「羅針盤」にしていただきたいと思います。



琉球銀行 商業団地支店長  
伊佐 博



出所：ケイアタック「樂々中期経営計画法」表紙より

## 返還軍用地を活用したむらづくり —地域活性化へ基盤整備—

2008年4月に村制施行100周年を迎えた読谷村。復帰時の1972年には村全体の73%を占めていた軍用地は、順次返還され、現在では村土の約36%まで減少しました。返還された軍用地は土地改良などの生産基盤整備や道路、排水路などの社会基盤整備が行われるとともに地域活性化のために観光施設などの整備も図られてきました。さらに2006年に全面返還された読谷補助飛行場跡地においても公共施設を集中的に配置する村民センター地区や新たな農業生産基盤整備が実施されるなど、計画的に整備が行われています。

人口も着実な伸び(2002年～2007年比で2.3%増加)を示し、2008年12月末現在で3万9千人(村としての人口は全国第2位)を超える今後も増加が見込まれます。新たな地域新興を進める読谷村の都市整備基本方針は「読谷村は農村の住居環境と都市近郊の利便性が共存する地域である」とした上で「村北部地域は農村環境、自然景観を活かした住居環境整備を進め、南部地域は中南部都市圏に近く、通勤・通学の利便性も高いため、都市的市街地整備を進める」としています。これらの方針に基づいて北部地域では自然景観と農村風情がマッチした環境整備、南部は快適な住環境を有する市街地整備、村中央部は役場、文化センターなどの公共施設を集中的に配置するなど整備が行われています。

先人が残した歴史と文化を大切にする魅力ある読谷村へ、山原へのドライブの途中に立ち寄られてはいかがでしょうか。



琉球銀行読谷支店長  
池原 興一

### 読谷村の人口・世帯数推移

	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年
人口総数	26,516	28,536	30,750	32,912	36,115	37,306
世帯数	6,073	6,890	8,045	8,965	10,699	11,280

出所：国勢調査(各年10月1日時点)



2009

1

経済日誌

沖 縄

全国・海外

- 1.5 東京商工リサーチ沖縄支店は、2008年の県内企業整理倒産状況（負債総額1,000万円以上）を発表。倒産件数は前年比25.6%増の98件で、負債総額は584.3%増の726億100万円だった。負債総額は過去4番目の規模となった。
- 1.20 厚生労働省が発表した2008年の賃金構造基本統計調査の都道府県別速報によると、残業代などを除く所定内給与の平均額(昨年6月の月額)は東京都が36万6,300円と最も多く、沖縄県が22万300円と最も少なかった。
- 1.21 県内小売トップのサンエーと国内コンビニ業界第2位のローソンは、沖縄県内の業務提携を行うことを発表。コンビニ事業を行う共同出資会社を設立し、県産食材を使った商品開発などを行う予定。
- 1.21 県は、派遣や期間従業員など非正規労働者の解雇問題を受けて、約150名を県の臨時職員として採用することを発表。原則として県外で解雇された県出身者を優先するが、一般求職者も含める。雇用期間は2月1日から3月末までの2カ月間。
- 1.22 沖縄労働局は、2009年3月卒業の新規学卒者の求人・求職・就職状況(2008年12月末現在)を発表。大学生の就職内定率は28.8%で前年同月比7.1ポイント低下、専門学校などは44.7%で0.8ポイント低下、短大(沖縄工専含む)は29.8%で4.2ポイント改善、高校は48.8%で3.8ポイント低下した。
- 1.28 沖縄地区税関が発表した2008年の管内貿易概況(速報)によると、輸出は前年比36.0%増の810億1,100万円、輸入が同33.1%増の2,636億5,600万円となり、ともに2年ぶりに增加了。
- 1.29 沖縄電力は、4月の標準家庭(月間使用量300キロワットアワー)の電気料金について、2009年1~3月期より267円安い7,975円に引き下げる発表。

1.5 自動車業界団体がまとめた2008年の国内新車販売台数(速報値、軽自動車含む)は前年比5.1%減の508万2,235台だった。4年連続のマイナスで1980年以来28年ぶりの低水準。

1.9 米労働局が発表した2008年12月の雇用統計(速報、季節調整済み)によると、景気動向を敏感に反映する非農業部門の就業者数は前年比52万4,000人減。結果、08年の就業者数の減少幅は計258万9,000人に達した。

1.14 東芝は、富士通のハードディスク駆動装置(HDD)事業を買収することで基本合意した。東芝が今春をメドに富士通のHDD生産販売事業を買収する。買収額は300~400億円とみられる。

1.14 米商務省が発表した2008年12月の小売売上高(季節調整済み)は3,432億ドル(約30兆5,000億円)、2008年通年では0.1%減の4兆4,783億ドル(約398兆6,000億円)で現行統計が始まった1992年以来初めて前年を下回った。

1.20 イタリアの自動車大手ファイアットと米クライスラーは、資本・業務提携で合意したと発表。ファイアットはクライスラー株の35%を取得。クライスラーはファイアットから技術供与を受けて、低燃費の小型車の開発や販売を強化する。

1.20 日本フランチャイズチェーン協会が発表した2008年の全国のコンビニエンスストア売上高(全店ベース)は、前年比6.7%増の7兆8,566億円だった。前年を上回るのは10年連続で、初めて百貨店売上高を抜いた。

1.21 財務省が発表した2008年12月の貿易統計速報(通関ベース)によると、輸出総額は前年同期比35%減の4兆8,333億円となり、1980年以来過去最大の下落率。2008年通年の貿易黒字は前年比80%減の2兆1,575億円と過去最大のマイナス幅。

# Economic Indicators vol.1

沖縄県内の主要経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	電気製品 卸売額	新車販売 台 数	泡 盛 出荷量	公共工事請負額	建築着工床面積		
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2006	0.0	▲0.6	1.8	5.3	5.0	▲2.0	242,038	▲10.5	2,383.5	22.1
2007	0.7	0.3	2.4	▲0.7	▲3.8	▲3.1	263,842	9.0	1,847.5	▲22.5
2008	▲3.8	0.1	2.7	4.5	▲1.1	—	254,597	▲3.5	—	—
2007 11	1.4	2.4	3.7	4.9	7.1	▲8.8	18,997	▲5.1	141.8	▲25.4
12	▲2.9	▲0.4	0.8	▲3.4	▲11.9	▲6.2	15,363	▲21.7	144.4	▲41.2
2008 1	▲3.3	0.0	1.8	▲6.0	8.9	0.0	12,699	2.6	111.8	▲41.2
2	▲0.4	5.1	6.5	5.4	3.3	▲1.3	16,786	45.4	112.8	▲20.5
3	▲7.3	2.5	4.7	6.1	6.9	▲9.9	36,709	▲36.9	149.3	31.6
4	▲2.9	▲0.4	1.5	0.6	▲0.4	▲7.7	16,287	104.5	178.0	▲22.6
5	▲2.8	0.4	2.7	▲3.9	2.8	▲2.2	12,076	2.3	152.0	▲14.8
6	▲4.0	2.2	4.4	12.7	▲0.5	▲10.6	20,954	▲20.5	150.5	▲48.8
7	3.1	0.0	1.9	5.3	▲2.3	6.2	20,477	9.4	194.0	85.0
8	▲4.0	▲0.9	1.7	8.7	▲1.8	▲12.8	22,224	▲3.6	110.3	32.1
9	▲6.2	▲2.3	0.4	2.2	▲7.7	1.0	33,144	22.6	182.5	77.7
10	▲3.1	▲1.6	0.6	11.5	▲0.5	▲2.3	29,534	▲8.9	149.3	21.9
11	▲6.8	▲0.1	4.5	0.0	▲14.9	▲5.7	14,022	▲26.2	221.8	56.4
12	▲6.8	▲2.7	1.8	8.3	▲9.2	—	19,681	28.1	—	—
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	酒造連	西日本建設業保証 沖縄支店	国土交通省		

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、泡盛出荷量は沖縄県酒造組合連合会。

注) 電気製品卸売販売額は2007年6月より調査先が10社から9社ベースへと変更になった。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生 コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	入域観光客数		観光施設 入場者数
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	千人	前年比	前年比
2006	16,266	12.2	6.8	▲5.0	2.2	▲1.3	4.7	5,636.9	2.5	7.2
2007	10,876	▲33.1	29.4	▲0.6	▲2.1	7.0	▲5.1	5,869.2	4.1	5.6
2008	—	—	▲12.1	▲7.0	▲6.1	16.4	▲11.3	6,045.5	3.0	3.1
2007 11	506	▲47.2	80.8	▲12.6	▲15.9	1.9	▲8.4	486.3	2.5	0.2
12	574	▲52.7	▲8.2	▲8.9	▲13.2	▲18.3	▲6.2	471.0	3.5	3.0
2008 1	584	▲56.7	▲58.5	▲16.2	▲17.9	▲15.5	▲14.7	434.7	▲0.3	2.0
2	521	▲48.6	14.0	▲17.6	▲15.8	10.4	▲8.5	483.8	3.9	▲3.5
3	886	▲0.3	▲39.7	▲17.9	▲26.9	27.2	▲19.5	563.7	1.1	4.9
4	1,485	11.6	0.2	▲9.2	▲1.6	26.0	▲5.5	484.0	1.8	0.1
5	750	▲35.3	181.0	▲11.4	▲9.6	28.9	▲15.5	456.9	8.7	7.3
6	866	▲45.8	▲62.2	0.5	▲7.9	27.5	▲19.4	438.8	5.2	2.6
7	1,009	48.2	▲32.0	2.6	9.2	6.8	▲2.5	525.4	10.0	20.7
8	679	11.7	▲11.3	▲14.3	▲12.8	▲0.2	▲14.9	626.7	2.0	2.4
9	1,164	102.4	0.7	▲9.0	▲6.8	13.8	▲10.1	535.0	1.2	3.3
10	1,216	106.5	36.1	▲2.9	▲3.2	33.4	▲7.4	547.0	5.3	3.5
11	1,383	173.3	▲16.7	9.5	13.0	7.2	▲2.5	485.5	▲0.2	2.2
12	—	—	▲16.8	4.2	12.8	38.5	▲11.0	464.0	▲1.5	▲2.2
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ					沖縄県観光商工部 観光企画課	りゅうぎん 総合研究所	

注) 生コンは2006年4月より調査先数を変更した(生コン協同組合の減少による)。

注) 木材は2008年1月より建材から名称を改めた(木質建材が主であることから)。

# Economic Indicators vol.2

沖縄県内の主要経済指標(その2)

	ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		ゴルフ場 入場者数	広告収入	鉱工業生産指数 (季調値)		電力使用量	
暦年	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比	2000年=100	前年比	百万KW	前年比
2006	78.9	78.6	▲2.7	3.4	▲5.8	▲2.0	84.2	▲3.2	3,316	1.0
2007	77.7	80.2	1.1	2.7	1.8	▲2.0	82.7	▲2.4	3,385	2.1
2008	70.7	80.6	▲1.6	1.0	3.1	-	-	-	-	-
2007 11	79.4	74.8	▲3.8	3.5	▲5.2	1.0	76.0	▲10.1	314	4.8
12	69.9	64.6	0.7	0.5	4.8	▲2.0	78.5	▲8.9	248	▲1.5
2008 1	73.0	71.7	▲5.1	0.3	4.5	▲6.3	81.1	▲6.5	238	0.4
2	86.0	86.5	▲1.6	4.6	6.1	▲2.7	79.6	▲9.8	223	1.9
3	81.4	86.5	▲5.7	1.9	3.4	▲0.5	84.1	▲3.9	212	2.8
4	69.0	79.7	▲7.4	▲1.2	3.9	▲6.9	80.8	2.9	230	▲3.0
5	60.0	74.7	▲2.2	3.2	3.5	▲6.7	81.6	▲3.4	244	2.6
6	62.4	73.6	▲9.4	▲1.4	3.2	▲4.8	83.4	2.8	288	0.7
7	67.4	87.3	6.6	4.0	8.7	▲8.3	83.0	7.6	340	2.3
8	77.1	90.6	3.8	2.6	12.5	▲7.9	84.6	▲6.3	379	1.0
9	75.7	91.8	▲1.2	1.2	▲0.2	▲3.0	81.6	3.4	356	▲0.9
10	70.0	88.1	0.3	3.2	▲4.3	▲1.0	81.8	1.7	338	1.3
11	71.4	71.8	▲2.0	▲6.2	1.5	▲5.2	-	-	321	2.1
12	67.4	65.7	▲3.0	1.7	▲3.1	-	-	-	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ						県企画部統計課	電気事業連合会		

注) ゴルフ場は、2006年10月より調査先を9ゴルフ場から8ゴルフ場とした。

注) ホテルは、2008年12月より調査先を18ホテルから17ホテルとした。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。

	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指數	失業率 (未季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新規 求人 数 (県内)	通關輸出	通關輸入
暦年	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2006	83	48,250	▲15.7	0.0	7.7	▲0.2	0.46	5.6	111,241	240,970
2007	78	10,610	▲78.0	0.2	7.4	▲0.8	0.42	▲10.6	59,578	198,113
2008	98	72,601	584.3	-	-	-	-	-	81,011	263,656
2007 11	9	614	101.3	1.0	6.5	▲0.3	0.42	10.5	6,799	20,768
12	8	1,710	▲93.3	1.3	6.8	2.5	0.42	▲3.6	6,172	13,633
2008 1	11	800	8.8	1.3	7.0	3.8	0.40	▲11.7	6,165	20,465
2	10	1,413	371.0	1.6	7.1	2.6	0.41	▲7.1	6,890	13,161
3	5	2,280	545.9	2.3	7.0	2.8	0.41	▲17.1	17,583	16,879
4	4	640	▲59.0	1.9	6.5	1.9	0.40	▲5.8	8,465	24,994
5	5	1,380	26.7	2.1	7.6	0.2	0.41	▲0.7	5,605	18,342
6	7	2,960	69.1	2.8	8.4	▲1.8	0.41	▲20.1	5,836	25,703
7	15	50,689	13,902.5	3.3	7.9	3.0	0.39	▲9.9	2,424	28,967
8	8	6,950	865.3	2.8	7.4	2.2	0.37	▲19.7	7,301	34,725
9	12	3,030	599.8	2.7	7.2	▲0.8	0.35	▲19.9	8,821	16,681
10	9	924	▲6.0	2.1	8.0	▲0.5	0.34	▲20.1	4,484	29,010
11	6	385	▲37.3	1.7	7.7	1.3	0.32	▲26.3	3,236	19,123
12	6	1,150	▲32.7	-	-	-	-	-	4,163	15,429
出所	東京商エリサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税關	

注) 有効求人倍率は、2005年12月以前は新季節調整値により改訂された。

注) 消費者物価指數は、2006年7月より2005年=100に改定された。

# Financial Statistics

沖縄県内の金融統計

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収 超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
年度	億円	億円	億円	月末%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2005FY	3,359	4,606	▲1,309	2.622	471	▲13.9	7,998	▲6.7	1,583	0.198
2006FY	3,516	4,863	▲1,334	2.637	432	▲8.3	7,655	▲4.3	2,850	0.372
2007FY	3,290	4,945	▲1,393	2.560	408	▲5.7	6,474	▲15.4	1,226	0.255
2007 11	265	391	▲ 125	2.573	33	▲8.2	470	▲19.6	82	0.174
12	579	157	422	2.560	30	▲15.7	411	▲32.4	58	0.142
2008 1	117	697	▲ 580	2.556	34	▲5.6	492	▲16.3	124	0.322
2	325	394	▲ 68	2.555	32	▲8.4	438	▲22.0	109	0.330
3	285	399	▲ 113	2.518	32	▲7.2	517	▲18.5	196	0.379
4	286	337	▲ 51	2.543	32	▲5.2	519	▲14.8	86	0.165
5	211	477	▲ 266	2.540	29	▲28.1	438	▲38.9	201	0.485
6	285	344	▲ 58	2.536	34	7.3	521	6.4	316	0.607
7	279	385	▲ 105	2.535	32	▲15.5	486	▲29.2	312	0.643
8	249	397	▲ 148	2.532	27	▲24.2	398	▲30.6	292	0.733
9	209	416	▲ 206	2.533	32	9.4	519	5.7	313	0.603
10	274	351	▲ 77	2.538	30	▲20.6	474	▲18.1	196	0.414
11	221	320	▲ 98	2.539	25	▲24.8	333	▲29.2	117	0.352
12	-	-	-	-	31	4.7	442	7.5	77	0.174
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		郵便貯金 (末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協 会債務残高	
年度	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2005FY	30,548	▲0.6	8,559	▲7.4	23,921	▲2.0	13,067	▲7.7	1,313	▲7.5
2006FY	31,604	3.5	7,875	▲7.9	25,123	5.0	12,393	▲5.2	1,273	▲3.0
2007FY	32,249	2.0	-	-	26,593	5.9	11,671	▲5.8	1,219	▲4.3
2007 11	31,051	2.6	-	-	24,944	6.7	11,933	▲4.2	1,164	▲5.8
12	31,282	3.2	-	-	25,365	7.2	11,818	▲4.4	1,188	▲5.3
2008 1	30,895	3.2	-	-	25,384	7.4	11,753	▲4.4	1,188	▲4.2
2	30,972	2.7	-	-	25,467	5.8	11,686	▲4.6	1,186	▲4.2
3	32,249	2.0	-	-	26,593	5.9	11,671	▲5.8	1,219	▲4.3
4	31,990	2.1	-	-	25,624	5.1	11,617	▲5.8	1,183	▲5.0
5	31,914	3.0	-	-	25,648	6.0	11,523	▲6.1	1,152	▲2.8
6	32,819	2.9	-	-	25,629	6.0	11,303	▲7.4	1,152	1.8
7	32,172	3.8	-	-	25,677	5.6	11,251	▲7.3	1,173	3.8
8	32,103	3.9	-	-	25,762	5.9	11,195	▲7.2	1,186	3.9
9	32,155	2.5	-	-	26,109	4.8	11,270	▲6.5	1,212	5.6
10	31,475	2.6	-	-	25,886	4.8	11,195	▲6.6	1,221	4.9
11	32,045	3.2	-	-	25,953	4.0	11,148	▲6.6	1,239	6.4
12	32,095	2.6	-	-	26,166	3.2	11,161	▲5.6	1,305	9.8
出所	琉球銀行		日本銀行那覇支店		琉球銀行		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	



りゅうぎん ポイントサービス

ポイント数に応じてサービスいろいろ！

ながい おつきあい  
リュウギン  
琉球銀行

### とくとく特典

**特典1** ATM時間外手数料が 無料

**特典2** 通帳・証書の再発行手数料が無料  
キャッシュカード(磁気・IC)の発行手数料  
(更新・再発行を含む)が無料

**特典3** トラベラーズチェック  
発行手数料が5割引  
※最低手数料500円はかかります。

**特典4** 海外送金手数料から  
100円割引

**特典5** ATM・インターネット  
振込手数料割引

**特典6** 各種個人向けローンの  
金利優遇(0.5%~1%優遇)  
※対象ローンはポイントサービスのチラシ  
にてご確認下さい。

### ポイントサービスとは！

日頃お世話になっているお客様に対し、毎月のお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて手数料割引または金利優遇等の特典が受けられるサービスのことをいいます。

シルバーコース 50point 以上 ゴールドコース 100point 以上 エクセレントコース 200point 以上

ポイントサービスのお申込みがまだの方は、店頭のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、窓口または郵便にてお申込み下さい。



※商品についての詳しいお問い合わせは、りゅうぎん窓口かフリーコールまで。

**0120-19-8689**

琉球銀行 ポイントサービス

<http://www.ryugin.co.jp/>

検索

## 特集レポートバックナンバー

### ■平成19年

12月 (No.458) 経営トップに聞く 株式会社 薬正堂  
An Entrepreneur 有限会社 スタプランニング  
寄稿 土壌保全戦略に係る研究  
経済レポート  
改正建築基準法が沖縄県経済に及ぼす影響について

6月 (No.464) 経営トップに聞く リューセロ株式会社  
An Entrepreneur NPO法人アジアチャイルドサポート  
寄稿 普天間飛行場跡地のまちづくり戦略

### ■平成20年

1月 (No.459) 経営トップに聞く 専門学校日経ビジネス  
An Entrepreneur 農業生産法人 株式会社 はごろも牧場  
寄稿 沖縄の若年労働市場の特徴  
特集 沖縄県の景気動向

7月 (No.465) 経営トップに聞く オバス株式会社  
An Entrepreneur 株式会社タース  
寄稿 コミュニケーションスキルと音声対話システム

2月 (No.460) 経営トップに聞く 株式会社 琉球メモリアルパーク  
An Entrepreneur 有限会社 上地屋  
寄稿 都市計画の視点から見た  
ウォーターフロント観光開発のあり方  
特集 沖縄県の主要経済指標

8月 (No.466) 経営トップに聞く 株式会社三倉食品  
An Entrepreneur 豊崎クリニック 沖縄PET画像  
診断センター  
寄稿 那覇空港における国際物流基地構想について

3月 (No.461) 経営トップに聞く 株式会社 新共電気工業  
An Entrepreneur 沖縄の楽しい有限会社(沖縄三昧ちゃんぶるしょっぁ!?)  
寄稿 沖縄の雇用問題と経済構造  
特集 沖縄県の事業所、産業の動向について

9月 (No.467) 経営トップに聞く 株式会社沖建住宅  
An Entrepreneur 琉球温熱療法院株式会社  
寄稿 説得の心理学  
経済トピックス 宮古アイランドロックフェスティバル  
2008経済効果

4月 (No.462) 経営トップに聞く 有限会社 オキセイ産業  
An Entrepreneur 有限会社 末広環境開発  
寄稿 ・沖縄のホテルと観光の現状と展望  
・沖縄の未来を運ぶ「みなど」づくり

10月 (No.468) 経営トップに聞く 金城重機株式会社  
An Entrepreneur 沖縄特産販売株式会社  
寄稿 地域再生と地方財政問題

5月 (No.463) 経営トップに聞く 株式会社 プロジェクト・コア  
An Entrepreneur 有限会社 海の種  
寄稿 職業的使命感  
経済レポート  
・沖縄県内における2008年プロ野球春季キャンプの経済効果  
・石垣島における千葉ロッテマリーンズ春季キャンプの経済効果  
・2007年度の沖縄県経済の動向

11月 (No.469) 経営トップに聞く 株式会社拓琉金属  
An Entrepreneur FM琉球株式会社(FMレキオ)  
寄稿 人類社会の理念型と日本の地方制度の在り方  
経済トピックス 沖縄県内における  
bjリーグの経済効果

12月 (No.470) 経営トップに聞く 株式会社大成ホーム  
An Entrepreneur うるくそば  
寄稿 沖縄振興に欠かせないブランド

### ■平成21年

1月 (No.471) 経営トップに聞く 株式会社上間菓子店  
An Entrepreneur 株式会社美ら音工房ヨーゼフ  
寄稿 倒産動向に見る沖縄の現状  
特集 沖縄県経済2008年の回顧と2009年の展望

# オートリースも 琉球リース にお任せ下さい!

## ご存じですか？オートリースについて

### 1. リース台数 >(タクシー 台数+ レンタカー 台数 )という事実

県内で走行しているリース台数は、実にタクシー台数の約6倍、レンタカーレース台数の約2倍です。

また、1企業あたりでは約2台、オートリースの利用はここまで拡がっています。

#### 県内データ

タクシー台数	レンタカー台数	リース台数	法人数	※各台数はH18.3/末現在 法人数はH18.1/末現在(国税庁統計情報)
約6千台	約1万7千台	約3万7千台	約1万9千社	

### 2. 低成長下において、増大を続けるリース台数

企業の経営効率化ニーズを受け、オートリースの利用は対前年比「104%」と着実に伸びています。

下記のとおり、県内におけるリース台数の伸びは一目瞭然です。

#### 県内データ

	H17.3/末	H18.3/末	増加台数	増加率
全登録台数	91万7千台	94万2千台	2万5千台	2.7%
(リースのみ)	3万5千台	3万7千台	2千台	4.4%
(リース除く)	88万2千台	90万5千台	2万3千台	2.6%

### 3. 県内トップクラスの保有台数は、皆様の支持の証し

琉球リースは、県内初のリース会社として、“ビジネスの足”をバックアップしてまいりました。

今日の実績は、これまでの取り組みにより得られた「皆様のご支持」そのものです。

琉球リース 保有台数	H16.3/末	H17.3/末	H18.3/末	H19.3/末	H20.3/末
	4,472台	5,043台	5,580台	6,448台	7,036台

※割賦販売契約分を除く

**琉球リースは、新車・中古車、軽自動車から大型車まで、車種  
・仕様を問わず、企業の自動車導入に“最適”をご提案します。**



<http://www.rlease.co.jp/>

〒900-8550 沖縄県那覇市久茂地1-7-1

本社：TEL 098-866-5500

中部支店：TEL 098-939-4880

## りゅうぎん調査

No.472 平成21年2月15日発行

発行所：株式会社りゅうぎん総合研究所

〒900-0025 那覇市壺川1丁目1番地9

りゅうぎん健保会館3階

TEL 835-4650 FAX 833-3732

印刷：沖縄高速印刷株式会社